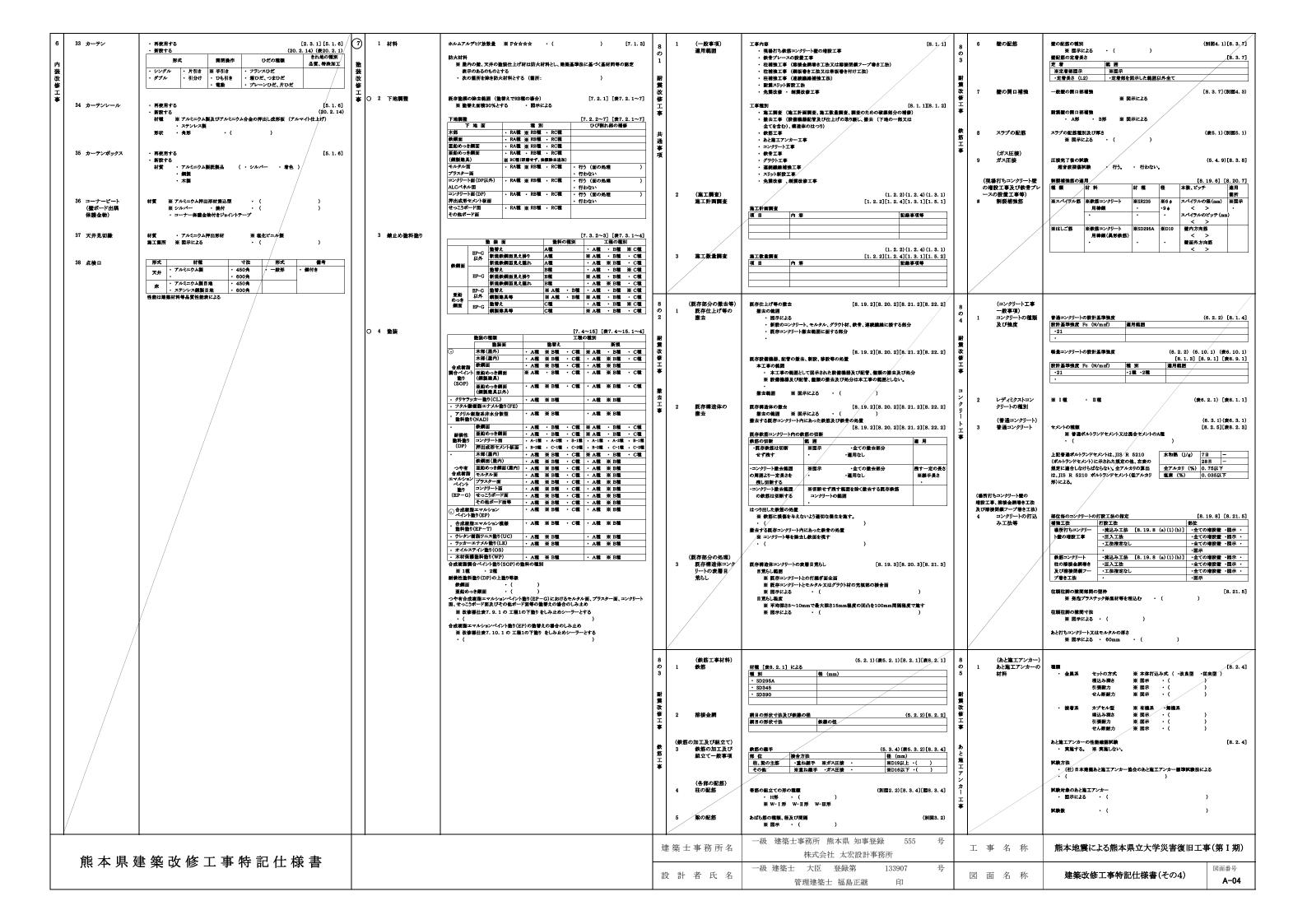
熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事(第1期)

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
	【 意匠図 】		【 電気設備図 】
A - 0 1	建築改修工事特記仕様書(その1)	E-01	電気設備工事特記仕様書(その1)
A - 0 2	建築改修工事特記仕様書(その2)	E-02	電気設備工事特記仕様書(その2)
A - 0 3	建築改修工事特記仕様書(その3)	E-03	(大学会館) 電灯設備 1 階平面図
A - 0 4	建築改修工事特記仕様書(その4)	E-04	(大学会館) 電灯設備 2階平面図
A-05	建築改修工事特記仕様書(その5)	E-05	(大学会館) 電灯設備・その他配線盛替工事 2階平面図
A - 0 6	工事概要表・共通事項・配置図・案内図	E-06	(大学会館) 電灯設備 改修前 1 階平面図
A — 0 7	(大学会館) 1階平面図	E-07	(大学会館) 電灯設備 改修前2階平面図
A - 0 8	(大学会館) 2階平面図		
A — 0 9	(大学会館)屋根伏図		
A — 1 0	(大学会館) 立面図(参考図)		
A — 1 1	(大学会館)断面図		
A — 1 2	(大学会館) 矩計詳細図		
A — 1 3	(大学会館) 2階天井伏図(改修前)		
A — 1 4	(大学会館) 2階天井伏図(改修後)		
A — 1 5	(サブアリーナ) 1階平面図(参考図)		
A — 1 6	(サブアリーナ) 2階平面図		
A — 1 7	(サブアリーナ)屋根伏図		
A — 1 8	(サブアリーナ) 立面図 (参考図)		
A — 1 9	(サブアリーナ) 断面図		
A - 2 0	(サブアリーナ) 2階天井伏図		

I 工事概要	熊	本県建	築 改 修 工 事 特	寺記 仕 様 書	\$	2 図面及び作	仕様書に記載されている	書に基づくものとし、添付の工事内釈書は参考とする。 製造所及び商品名は、製品の程度を示すもので参考とする。			1	〇 13 技能士	・ 鉄筋工事(1級鉄筋技能士) ・ コンクリート工事(・1級左官技能士 ・1級型枠施工技能士 ・1級コンクリート圧送施工技能士)	(1. 5. 2) [1. 6. 2]
1 工事名称	熊本地震による熊本	県立大学災 害復	日工事(第Ⅰ期)			4 建股業退車	職金共済制度の「掛金	出すること。 現場代理人及び主任(監理)技術者通知書には、 :収納書」 及び建設労災補償共済制度の「加入証明書」(般		 ・ 鉄骨工事(1級とび技能士) ・ ブロック及びALCペネル工事(・1級ブロック建築技能士) ・ 防水工事(1級防水館工技能士 (作業) 	
2 工事場所	熊本県熊本市東区月	出3丁目1番100	号		地 内		書に記載されている監督	F員の承諾、監督員との協議等の要領については、工事監理 は、県産資材、県内企業及び誘致企業の採用に努めること。 ;		N. T. P. S.	共通		・ 石工事(・1銀石技能士・1銀石材施工技能士) ・ タイル工事(1銀連条人工技能士) ・ オエ事(1銀連集人工技能士)	
3 建物概要						(1) 県産	直査材とは、県内で産出	は、宗皇寅や、宗門正宗及い病故正宗の休用に穷めること。。 、生産又は製造されたものをいう。 る営業所を置く建設事業者をいう。	よわ、未鑑責何、朱内正未及い詩製正来と	は、以下に取当するものをいう。	項		① 屋根及びとい工等(1級業務気金技能士・1級スレート第二技能士) ・ 金属工事(-1級天井仕上げ第二技能士・1級内装仕上げ第二技能士) ・ 左官工事(1級左官技能士)	
				%胜	施行令	(3) 誘委	を全集とは、県内に誘致 電子納品対象工事とす	された企業をいう。					● 塗装工事(1級塗装技能士 (作業)) ・ 建具工事(・1級サッシ施工技能士・1級ガラス施工技能士)	
	建物名称	構造	階 数 延面積		加引节 備 考	なお、遵守	テしていないことが判明し	E事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、次に掲(た場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処する。					○ 内装工事(1最内装仕上げ施工技能士 (作業)) ・ 内装工事(1最表装技能士 (作業))	
1	大学会館	RC造	2 1,190	0.39 7	項	② 警察		載然としてこれを拒否し、不当介入があった時点で適やかに ないいて書面により適やかに発注者に報告すること。また、					・ 権僚工等((経治国技能士) ・ 冷凍空気調和機器施工技能士 ・ 熟給籐施工技能士 ・ 強禁板金技能士)	
2	サプアリーナ	RC造	2 1,347	7.58	項	Ⅲ 工事仕様	終期仕機会に収着され	ていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営締部監修 「公		∌ 95Æ≅5).			技能士は、黄袖を証明する黄料を監督員に提出すること。	
3						「公共建築	英工事標準仕様書(電気	(マルヤマス)(本) 国土ス地省人民日の日の日の日の日の 設備工事編) (平成25年版)」、及び「公共建築工事標準仕札 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修「公共住宅建設工事	蒙書(機械設備工事編)(平成25年版)」によ			14 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	
4						2 項目は、番 3 特配事項に	#号の前に ○印 の付い は、○印 の付いたもの					○ 15 建設工事使用機械等	※ 建設工事による勢出ガス対策型施設機械を使用すること。 ※ 建設工事に伴り顕音振動対策技術指針に基づき、低語音型建設機械を使用すること。 ※ 建設理機等のアイドリングトンプを実施し、その点後を行うこと。	
※ 建築基:	単法に基づき定められた風速 (V0)	(m/sec)			5 各章の特割		書きは新築工事標準仕様書の章・節・項番号、[]書きは 	は改修工事標準仕様書の章・節・項番号であ 特 記 事 項	ა		16 設計GL	※ 國示による。 ・ 現状地盤の平均高さとし、監管員の指示による。	
※ 建築基語	単法に基づき定められた積雪荷重	()			-						○ 17 既存部分等への処置	工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。	
※ 地表面和	且度区分 ・ I ・ 耳 ・	ш • 1V				1 0 1 26	用基準等	● 産業工事標準詳細図 (平成22年版) ・ 建築軟骨設計基準及び同解説 (平成17年版)	1	上交通省大臣官房官庁營籍都監修 同上		〇 18 他工事との取合い	第工範囲 別表 - 1 による。 第工図 設備機器の設置、取合いなどが検討できる第工図を提出し、監督員の承諾を受けること。	
4 丁宮項目	(電気設備工事) 〇印	付したもの				_ #0-		 標内舗装・排水設計基準(平成13年版) 接壁設計標準図(平成12年版) 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気・機械を 	段借工事編) (平成25	同上 同上 年版) 同上		〇 19 建築材料 設備機器等	ホルムアルデヒド放散量 本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生養額利用できる	スものを確据的に
工事項	建物名	1	2 3	4	屋外	共		・ 木造建築工事標準仕様書 ・ 公共建築設備工事標準図(電気・機械設備工事編)	(平成25 (平成25 (平成25	年版) 同上		EX MILOSOM 47	使用すること。 ※ F女女女 ・ ()	りのかるが開発されて
2	配灯・コンセント設備 冷線・動力設備					事		建築物解体工事共通仕様書・同解説 ・ 鉄筋コンクリート工事標準図	(平成24 熊本県産築士事務所協会発行 (平成17	年版) 同上 年版)		○ 20 化学物質の濃度測定	・行う。	(1. 5. 9) [1. 6. 9]
	献保護設備								熊本県建築士事務所協会発行 (平成17 公共住宅事業者等連絡協議会編集	年版)			厚生労働省が定める化学物質の濃度が指針値以下であることを確認し、報告書を監督員に提出すること。 対象室名 : ()	
6 1	を変電設備 重力貯蔵設備 を電設備					O 2 12-	子納品に関する	(電子納品に関する基準) 電子納品に関する基準は、「熊本県電子納品運用ガ	フレラクン(金)※1」(ド)で、他士県サフレラ	AAIP 1-1			満定法 ・ アクティブ型 ・ パッシブ型 ・ その他 ・ ()	
8 7 9 1	1 電点 の						74	電子前品とは、各業務段階の最終成果を電子データ に基づいて作成されたものを指す。なお、書面におり	で納品することをいう。ここでいう電子データ	さは、熊本県ガイドラインに示すファイルフォーマ		〇 21 工事写真等	撮影箇所及び撮影力法は、「熊本県連集工事写真撮影要領」による。 着工前、工事中、竣工時及び完成等真用写真の撮影は、デジタルカメラを使用すること。また、完成写真は、下配業者の撮影とする ・監督員の承諾を受けた写真専門集者 ② 監督員の家籍を受けた撮影者	ō.
12								(電子データの貸与) 本工事では、設計図CADデータを貸与する。(CAD				〇 22 完成図		(1. 7. 2) [1. 8. 2]
14	秀導支援設備 呼出設備 テレビ共同受信設備							なお、貸与されたCADデータを当該工事における施 (電子納品に要する経費) 電子化に要する費用は共通仮散費に含まれている。	工図又は完成図の作成のため以外に使用	してはならない。			また、施設引波に品がある場合、その受領者(写)を監督員に提出すること。 陽面省写図 (A4版所込み製本2部、2つ折り製本1部) 対象政績数、保証等、政策販明書等	
16	テレビ電波障害防除設備 監視カメラ設備							※:熊本県ホームページの土木部-土木技術管 熊本県HP http://www.pref.kumamot					電子データについては、熊本県電子納品運用ガイドライン(集)の仕様により作成し、納品を行うこと。	
18 2	(退室管理設備 自動火災報知設備						事実績情報の	※ 要 (提出先:(一財)日本建設情報総合センター)	・不要	(1. 1. 4) [1. 1		〇 23 施工図	無本県電子納品運用ガイドライン(業)の仕様により作成し、納品するものとする。 当該連集物の取得する施工図等の著作権に保わる使用権は、当該連集物に限り発注者に移譲する。	
	自動閉鎖·非常警報股備 中央監視制御股備 520200億						録(工事カルテ)	工事実績情報サービス(CORINS)		(* o o) [* o		○ 24 保全に関する資料		(1. 7. 3) [1. 8. 3]
	直気時計設備					4 品1	質 計画 気保安技術者	※ 品質計画については、監督員の承諾を受けること。 適用する適用しない		(1. 2. 2) [1. 2 (1. 3. 3) [1. 3		25 県有施設台帳	提出部数 ※ 2都 ・ ()部・提出する。 ・ 提出しない。	
25 #	中内配電線路 作内弱電線路					O 6 施i		※ 現場説明書による ・ 図示による		(1. 3. 5) [1. 3		- Minimum III	別に定める県有施設台橋について必要事項を配入のうえ監督員に提出すること。 (ACCESS形式、EXCEL形式、CSV形式のいずれかによる電子データを含む)	
27 1	数去工事					〇 7 発生	生材の処理等	引渡しを要するもの()	(1. 3. 8) [1. 3	3. 8]	○ 26 保険等	熊本県公共工事請負契約約款第50条第1項により、次の保険等(その他これに輩ずるものを含む)に付さなければならない。	
c + ****	(機械設備工事) 〇印	付したもの						引渡し場所 ※ 標内 特別管理産業廃棄物 有 廃棄物の搬出方法等 分別解体等及び特定建設資材	/···	よるペープロの機能に集出されたい			(1) 保険の種別	
I#	建物種別及び屋外	1	2 3	4	屋外			「建設副産物の再生利用指針」	の建設発生材処理フローにより適切に処理 (熊本・上益線管内) ・ 自社処分				(3) 保険の加入期間 ※ 工事着手後 (原則とする) 速やかに加入し、工業末より30日間以上・その他 ()	
2 1								②仮置き等 必要な場合は	R源化施設とする 、法律に違反しないように適切に処理するこ	د			(4) 保険金額 ※ 原則として請負金額に相当する金額 ・ その他 ()	
	作煙設備 自動制御設備 近生器具設備							現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの 建設廃棄物処理実施計画書、現 建設副産物情報交換システムに	を設定案物処理実績集計表及びマニュフェスト ・お祭』を関係されば、	云票の写し等を提出すること。		〇 27 安全施工実施対策	※ 連集工事安全施工技術指針にしたがい、工事の安全確保に努めるとともに、安全・訓練等の実施状況報告書を監管員へ提出する	ಶ್ವಾಕ್ಕ
6 #	h大設備 非水設備								・ ((一財)日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター TEL:(03)					
8 #	合湯設備 肖火設備							実施書及び再生資源利用促進	画書及び再生資源利用促進計画書を提出 実施書を提出すること。	し、工事完了時に再生資源利用				
10 J	ガス設備							・建設リサイクル法 竣工時に、	合で、処分が困難となった時は、監督員とは 再資源化等報告書を監督員に提出すること	:.		28 官公庁への 諸手続き等	関係官庁、電力会社等への手続きは、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は簡負者の負担とする。ただし、特配ある事	項は別途とする。
12 3 13 3 14 3	 降機設備							処理に係る税(熊本県産業廃棄	のうち、県内の最終処分場に搬入する建設。 ・物処理税)が課税されるので適正に処理す ・処分における熊本県産業廃棄物税相当額	ること。		○ 1 既存部分の養生	業全方法 ※ ビニールシート等による。 ・ ()	[2. 3. 1]
	-		II.	1	1			型枠の端材、塗料の空缶等については「廃棄物の処理」	及び清掃に関する法律」に基づき、元請業者	か 責任において適正に処理すること。	(2)	9017 日マカン女工	関定された僧品、机、ロッカー等の移動 ※ 行わない。 ・ 行う (図示による)	(5. 0. 1)
(本工	. M M +-+		見定するものではない 〇印を付	けたものが該当項目となる)	〇 8 再生	生資材活用	受注者は、熊本県グリーン購入推進方針に適合するリサ 受注者は、リティクル建設資材を使用する場合、工事材料を ・熊本県グリーン購入推進方針判断某準等資金報告	主部検査順い提出時に品質・性能に関する			O Designation of the last of t	既存家具等の養生 ③ ビニールシート等による。 ・ ()	fo
	・ FCU+ダタ	ト併用方式	・ FCU方式・ パッケージ方式・ 吸収冷温水機		マルチパッケージ型空気器和機			・照本果グリーン購入推進方針判断基準等適合報告・有害物質の溶出・含有等に関する証明書・再生材料供給証明書	*		仮 (〇 2 仮設間仕切り	仮設開仕切りの種別 村賃 仕上げ	[2. 3. 2]
	・空気熱源に	''* -トポンプユニット ・有 ・無)	・パッケージ型2		ガスエンジンヒートポンプ式空間間和機			(例外1) 次の資材については、上配書類の提出を求めない。			*		③ B 種 せっこうボード張り (厚さ ※ 9.5・()) ・ ・ C 種 ・シート張り ・・シート張り	迪度
	型 では では できます できます できまる できまる できまる できまる かいま かいま できまる かい はい	・有 ・無)・電子式 ・						・コンクリート塊又はアスファルト・コンクリート塊のみを・高炉セメント	再生材料として使用した「再生加熱アスファ	ルト混合物」及び「再生路盤材」		〇 3 監督員事務所		(2. 3. 1) [2. 4. 1]
給力		方式 (・上水		井水 ・ 中水) ・ 増圧ポンプ方式				・エコマーク認定製品 (例外2)		1. ** * * * * * * * * * * * * * * * * *		O 4 ~*****	面積規模 () ゴ程度 信品については、監督員の指示による。	
排力	ポンプ排水		・ 台流) j水 ・ 雨水 ・ 雑排水 ・ 汚水 ・ し尿浄化槽)	.) •無)				該当する項目に係る有害物質の溶出及び含有、アスペン 資材については、「(2)有害物質の溶出・含有等に関する		小宗寺 ジガエに関する 仮金を小安としている		O 4 工事用水 O 5 工事用電力	構内既存の施設 ③ 利用できる(※有債・無債) ※ 利用できない 構内既存の施設 ③ 利用できる(※有債・無債) ※ 利用できない	
	雑排水放流先 ・屋内消火柱	(・公共下水道(・1号 ・2号	・ し尿浄化槽)) ・ 屋外消火栓			9 再生	生資材の利用	再生資材の利用又は現場内で流用をする場合は、土木 対象資材 : コンクリート塊、 アスファルトコンクリート境		t ő .		○ 6 手すり先行足場	足器を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について「厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「「関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足器に関する基準」に適合する手が、中さん及び幅木の機能を有する足器と	手すり先行工法等に
消少	・ 二酸化炭素	消火 ・新ガ		簡易自動消火	ヘロゲン化物消火	10 建	設発生土の利用	建設発生土が発生し、又は建設発生土を利用する場合	は、土木部で定めた「建設発生土の利用とダ	型理指針」による。			関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足器に関する基準」に適合する手すり、中さ心及び幅木の機能を有する足器と 解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足器の組立て等に関する基準」により行うこと。	し、足切の組立て、
# 2	・ 散 備 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガ	(供給業者名 ス	種別 発熱量	kcal/Nm³)			設汚泥処理土 利用	建設汚泥を再生した建設汚泥処理土の利用は、土木部	で定めた「建設汚泥の処理と建設汚泥処理	土の利用指針」による。	±	1 埋戻し及び盛土	雅別 · A權 ※B權 · C權 · D權 (8	3. 2. 3) (表3. 2. 1)
						12 施工			関査範囲 () 既存部分の破譲を行った場合の補修方法	[1.5 ・ 図示による ・ ()		2 建設発生土の処理	※ 橋外指示の場所受け入れ場所 (受け入れ場所での処置 (・ 敷きならし ※ たい確一)	(3. 2. 5)
													搬出距離 () km	
													上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協職のうえ決定する ・ 構内指示の場所 (・ 繋きならし ・ たい寝)	
								<u> </u>		一級 建築士事務所 熊本	県 知事習	· 绿 555 号		
er.	士 旧 浩 龄	コ <i>ト ル</i> ケ ー	· 由胜到 4.	快 事					建築士事務所名	株式会社			工 事 名 称 熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事((第Ⅰ期)
標	平 県 建 栗	以修士	事特記仕						設計 者氏名	一級 建築士 大臣 登	録第	133907 号	図 面 名 称 建築改修工事特記仕様書 (その1)	図面番号
ĺ									以 月 日 八 日	管理建築士 福	富島正継	印	日 日 日 和	A-01

0 1 #=#:	[0 1 0] A	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	※ 樹脂注入工法 [4, 1, 4] [4, 2, 2] [4, 3, 4]	4 7 4 1 35 ++4	F41. 1. 129	. 44 1 50 44 17 2 17 2 17 4 18 4 18 4 18 4 18 4 18 4 18 4 18 4	E 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	・マスターキー [5. 7. 2~4] [表5. 7. 1~2]
(3) ○ 1 降雨等に対する 養生方法(とい共) 防 水 ○ 2 既存防水の処理	※ 改修標仕3. 1. 3(e)(1)~(3) による ・ (ひび割れ部改修工法 コンクリート打放し仕上げ モルタル塗り仕上げ タイル張り仕上げ 	※ 樹脂性入工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.4] ※ 自助式低圧エポキン樹脂性入工法 ※ 200~300 ・ () ・	4 7 仕上塗材化 外 融	在上行	- 仕上掛材における防火材料の樹定 養薬証券法に基づく基材同等の限定を受けたものとする - 専付が仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工 法 @ 考	5 10 建具用金物 建	・マスターキー [5.7.2~4] [表5.7.1~2] ※ 製作する(※新規・既存に合わせる)・製作しない ・製作機能 機能 機能 ※ その他の金物 ※ 配示による
改修	要存保機器の撤去 ・ 行う(範囲・図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		※ 養養補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024の低粘度形又は中粘度形) 3 ア独立の検査 ・ 行う(長さ500mごと及びその端敷につき1個。 補修方法は、國示による) ※ 行わない	改修工		- 外装牌数材E - 砂壁状 - 接色骨材砂壁状 - 吹付け - 外装牌数材S - 砂壁状 - 砂壁状 砂壁状	次 改修 を エ 11 自動ドア開閉装置 宣	関南装置の性能性
	露出防水層表面の ・行う(・M4AS ・ M4AS I ・ M4C ・ M4DI ・ L4X) 仕上げ塗装除去 ・ 行わない		・ リカットシール材充強工法 [4, 1, 4] [4, 2, 2] [4, 3, 6] 充填材料 種別 ・ シーリング材 ※1成分形又は 2成分形 対サーセメントモルタル(性能は連集材 2成分形			- 厚付け仕上塗材		スイングドア用 ※ 改修業化表5.8.2 による ・ () 郵勤装置 ・電気式 ・空気圧式 ・油圧式 ・ () 電源 ※ 単和100V(通電流保護装置付) ・ () センサーの種類 ・光線(反射)スイクチ・シッチスイッチ・ ()
3 既存防水層の 下地補修	[3.2.6] 補修値所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による ・ ()		ポリウレダン系 シーリング射 ・ 可とう性エポキン樹脂 性能は確集材料等品質性能表による			- 復居仕上箇材 [4.1.5] [4.2.2] [表4.2.4~5] 呼び名 仕上げの形状 工 法 傷 考		機動センサー ※ 光電スイッチ1線 ・ () 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は不工事に含む
4 アスファルト防水	[表3.1.1] [3.3.3] [表3.3.3-表3.3.10] 塩工管所 防水改修工法の種類 新規防水層の種別		 シール工法 性能は施薬材料等品質性能表による [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 6]			個項面的	12 自開式上吊り引戸 装置 13 重量シャッター	性能 ※ 改修額仕表5.9.1 による ・ 関示による [5.9.2~3] [表5.9.1]
	歴侠保護(第出)防水新軌工法の断熱材 [3.3.2] 用さ ※ 25 ・ () 材質 ・ ()	 欠損部改修工法 コンクリート打放し仕上げ モルタル塗り仕上げ タイル要り仕上げ 	※ 充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 7] 対 料 備 考 ※ エポキン樹脂モルタル 性能は無類材料等品質性能表による ポリマーセメントモルタル 性能は無限材料等品質性能表による			防水型複層整対CB		
	防水立上9部の保護の方法 [3.3.2~3][3.3.5][妻3.3.3~妻3.3.10] ・ 転式保護材 (性能は建築材料等品質性能表による) ・ セメントれんが ・ ()	3 浮き部改修工法 ・モルタル塗り仕上げ	[4.1.4] [4.4.10~15] [接4.4.3~4] アンカービン 注入口の箇所 充填量 注入量			- 可とう形改像用仕上論材		・ 防火シャッター(外部用) ※ 設ける ・ 120 ・ 上部手動式 ・ 自動開銀型) ・ 防火シャッター(内部用) ・ () ・ シャッターの ・ シャッターの 二段降下方式
5 改質アスファルト シート防水	[表3.1.1] [3.4.2~3] [表3.4.1~3] 施工箇所 工法 新規防水層の報別 仕上箇料	・ タイル要り仕上げ	工 接 本家(本/山) 家(歯所/山) (□/(歯所) - 一般部 指定部 - 一般部 指定部 - 一般部 指定部 - 一般部 指定部 - 北平 - 本歌(本) 本 - 本 - 本 - 本 - 本 - 本 - 本 - 本 - 本 - 本			- ・マステック強材塗り [4. 2. 2] [4. 6. 6] ・ A種 ・ B種		※ 三相 200V 0.75Ks以下(通電波保護装置付)・(工事報題 - 大側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む スラト及びシャッターケース用側板の機類 ・ JIS G 3302 ・ JIS G 3312 ただし、かっきの付着量は212又はF12とする
	工法 AS - ※カラー ・シルバー 工法 AS - ※カラー ・シルバー		・アンカーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 1 改修工法		・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 ・ 関示による [5.1.3] 「娘に建具を設ける場合の、整部分の関ロの関け方及び周囲の補修工法並びにその範囲は、 研究による	14 軽量シャッター	
○ 6 合成高分子系 ルーフィング シート防水	(表3.1.1) [3.5.2~3] [表3.5.1~2] 第工箇所 工法 新規防水層の複別 仕上監料(郷田の場合) 工法 S - ・カラー ・シルバー 工法 S - ・カラー ・シルバー		- 注入口付アケービンシグ ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	建 具 改 2 防火戸		適用する (图示による) ・ 適用しない [5.1.4]		### ### ### ### ### ### ### ### ### ##
7 釜膜防水	(歳3, 1, 1) [3, 6, 3] [表3, 6, 1~2] 施工箇所 工法 新規防水層の種別 仕上箇料 ・ POX工法 ・ X-1 ・ カラー ・ シルバー		全面をサーナシウンスサー性入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エ 3 アルミニウ	ウム製建具	[5, 2, 2~4] [表5, 2, 1~2] 種別		電動式の場合の電源 ※ 単相 100V (過電液保護装置付) ・ () 工事報酬 一次側配線は対途工事とし、開閉線構以降の二次側配線はオエ事に合む電動式の場合は、危害防止機構及び障害物態の装置(自動閉鎖型)を設けさものとする
	・LAX工法 ・X-2 ・カラー ・シルバー ・PIY工法 ・Y-2 ・カラー ・シルバー ・P2Y工法 ・Y-2 ・カラー ・シルバー 要存強膜効本表面の仕上が登装(LAX工法) [3. 2. 6]		注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ ステンレスSUS304、呼び極外径6mm () (- 防音サッシ 連音性の等級 () 所数セの等級 () 所数サッシ 所数化の等級 ()) ・ (15 オーパーヘッドドア	[5.12.2~4]
8 脱気装置	除金する (・デッキブランで水洗い ※ 高圧水洗浄)[3.3.3][3.4.3][3.5.3]	4 モルタル塗替え	[4.2.2] [4.4.9] そルタル ※ 改修額仕4.2.2 (g) による ・ ()			内部雑具 ※ C-1種 ・ C-2種 計画水の処理方法 ※ 圏示による ・ ()		※ スチールタイプ - 50 ※ パランス式 - スタンダード形 ※ ステルス欄板 - 7た/ニウムタイプ - 75 - チェーン式 - ローヘッド形 (SUS304) - ファイパーグラスタイプ - 100 - 電動式 - ハイリフト形 - 溶酸亜鉛
O 9 ルーフドレン	※ 主材料製造所の指定する製品 ・ () 材質 ※ 改修課仕表3.8.2 による ・ 因示による [3.8.2] [表3.8.2]		吸水調整材 性能は準集材料等品質性能表による) 既製目地材 ・ 使用する ・ 使用しない	4 樹脂製建	!	[5.3,2~4] [兼5.3,1~8] 種 別 外部に面する速具 内部総具 ・普通サッシ ・ A種 ・ B額 ・ C額		
10 改修用ドレン	・設ける(POAS, POASI, POD, PODI, POS, POSI, POX工法の場合) [3.2.5] 主材料製造所の指定する製品	5 タイル張り	タイルの種類 (4.2.2) 塩 工 値 所 形状・ 寸法 (3 大率による区分) うわぐすり 役物 色 再費酬 イ 放 工 値 所 1 類			- 防音サッシ 富音性の等級 () - 所能性の等級 () () () () () () () () () (16 ガラス	・フロート板ガラス 厚さは、因示による [5.13.2] 東名板ガラス 厚さ次で品種は、因示による [5.13.2] 瀬入坂ガラス 厚さ次で品種は、因示による [5.13.2]
11 シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [表3.1.2] ・シーリング充填工法 [3.7.4] ・シーリング再充填工法 [3.7.5]		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 網戸等	_	(5.2.3) 種別 材質 集任 網目		- 前へをボノフ 厚さ及び間径は、図べによる (5.13.2] ・ 歳と後ガラス 厚さ及と種は、図べによる (5.13.2] ・ 会わせガラス 対料、厚さの組合社、合計原さ及び特性による種類は、図示による (5.13.2] ・ 倍後数ガラス 対料による名称、呼び厚及び特性による種類は、図示による (5.13.2] ・ 倍後数ガラス 対料をガラスの種類及び厚さによる種類は、図示による (5.13.2]
	・ 拡幅シーリング再充慎工法 [3.7.6] ・ ブリッジ工法 [3.7.7] ・ ボンドブレーカー振り ・ エッジング対策り					・ 防虫網・ 合成複雑製・・ () ・ () ・ () ・ ステンレス(SUS316)製・・ () ・ () ・ ステンレス(SUS304)製・ () ・		・ 熟練吸収板ガラス [5.13.2] 電/類 厚さ(mm) 性 態 色 同 ※ 熟練吸収プロート板ガラス・() ・1種 ・ブルー ・グレー ・プロンズ
	接着性試験 - 簡易接着性試験 [3.7.8] - 引張被着性試験 (部位) - 2面接着とする範囲		外数タイル ・ 密着要り ・ 改良度着限り ・ 有機系接着剤 ・ マスク張り ・ モザイクタイル便り ・ 有機系接着剤 ISA SSSF 「外数タイル優別有機系接着剤」による 裏あし高さ、裏面反り () 、 (使用量(kg/m2))	6 銅製建具		・ ()()[5.4.2~4] [表5.4.1~2]		・ () ・ 2種 ・ グリーン ・ () ・ 後期ガラス [5.13.2] 種類 斯熱性、日射熱薬へい性
12 EV	※「金属と金属」及び「金属とガラス」・ () (3.8.2] [表3.8.1]		仲縮興難自地及びいが割れ等発目地 位置 ※ 改修額仕表4.5.1 による ・			着 別		・断熱機関ガラス ・1種、U1 ・2種、U2 ・3種、U3-1 ・3種、U3-2 ・日対熱道へい復用ガラス ・4種、B4 ・5種、B5 ・熟練反射ガラス [5.13.2~4]
	種 別 材 種 巻 第工集所 備 考 - 配管用機管 とてどい - 研究が進化ビニル管() - ステンレス機板 野どい・	6 下地処理	原存整膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3] 対 料 処理範囲 下地のひび動れ部等の抽管 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上面全体・ () ・ 行う ・ 行わない	7 銅製軽量3		福津型建具 ・表5.4.1を適用 ・ S-4 ・表5.4.2を適用 ・ JIS G 3317 以外の強具 ・ () ・ S-5 ・ 國示による ※ Y08		# 類
	マン・・ とい受全物 ※ステンレス製・ 無製 (面鉛めっき) [3.8.2] [表3.8.3] 防 席 ※ 改修機仕表3.8.4 による [3.8.2]	/	・ チンダー工装 ※ 既存仕上面全体・()・行う・行わない・ ・ 高圧木洗工法 ※ 既存仕上面全体・()・行う・行わない・ ・ 監験はく陽邦工法 ※ 既存仕上面全体・()・行う・行わない・ ・ 水洗い工法 ※ 上配処理範囲以外の既存仕上面全体・()・行う・行わない・	· 類段程畫》		(5. 5. 2~4] (表6. 5. 1) 種 別		・ 平面強化ガラス
13 アルミニウム製笠木	部材の種類 [3.9.2] [表3.9.1] ・押出し250形 ・押出し300形 ・押出し350形 ・被折り曲げ形(本体幅(mm) ()、板厚(mm) ※ 2 ・ ()) 表面処理 [3.9.2] [表5.2.2]		下地開整 ※ 下地開整能材を使用 [4.6.3~4] ・ ポリマーセントモルタルを使用 ・ 防水平が上 け 節材 主材を使用		-	- 標準型雑具 - A-3 ※ 溶融亜鉛から準板 - 表5.5.1を適用 以外の雑具 - () ・ビニル後間解板 - カラー解板 - カラー解板	17 ガラス留め材	(5.13.2) 淮兵の種類 材 種
	・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 ・D 笠木の下雑雑修 [3.9.3] ・行う ・行わない 行う場合の工法 ※ 図示による ・ ()			8 ステンレス		2合せ、酸小口包み板等の材質は、差異製作所の仕様による 制板 (量外) ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 [5. 6. 3]		アルミニウム製 ※ シーリング材 (SR-1) ・ ガスケット(グレイジングチャンネル形) 解製、ステンレス製 ※ シーリング材 (SR-1)
14 保証書の提出	防水工事は責任施工とし、保証書を防水工事施工者及び酵食者の連名にて提出すること アスファルト防水					(機内) ・ SUS304 ・ SUS430JIL ・ SUS443JI ・ SUS430 技面の仕上げ ※ HL仕上げ ・ 銀面仕上げ [5.6.4] は7加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ(抽張あり) [5.6.5]	18 ガラスプロック積み	JIS A 5212 による [5, 13, 5] 表面形状 寸 法 厚 さ 色 調 防火器を 者 考 ・グリア・乳白・なし ・カラー() ・ が大製備 事項は、圏示による
	改賞アスファルトシート防水 合成高分子系ルーフィングシート防水 ・・・・・・ 10年間保証			9 木製建具	`/ I i	是具材の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 (16, 7, 2) (表16, 7, 1) フラッシュ戸 (16, 7, 2~4) (表16, 7, 5~7) 表面材の合板の種類 規格等 標準合板 表面の材質		· 熟練反射
15 事後調査	綾工後2年目に第工箇所の事後調査を指示にしたがって実施する				,	 (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株)		
						・天然木 模種名 () 化社合板 接着の程度 (・1類 ・2類) ・特殊加工 化粧加工の方法 化粧合板 (・オーパーレイ ・プリント ・塗装)		
					1	表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1項 ・2項) 計画板の厚さ ※ 標仕表16.7.6 による ・ ()		
能 人 旧 2	上览			建築士事務	务所 名	一級 建築士事務所 熊本県 知事登録 555 号 株式会社 太宏設計事務所	工 事 名 称	熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事(第 I 期)
股 平 界 月	性 築 改 修 工 事 特 記 仕 様 書 			設計者」	氏 名	一級 建築士 大臣 登録第 133907 号 管理建築士 福島正継 印	図 面 名 称	建築改修工事特記仕様書(その2) 図面番号 A-02

● 1 本等報酬	## (6. 16. 16. 16. 16. 16. 16. 16. 16. 16. 1	
# 7 本材保存剤 本材保養剤(木材の財産が効能剤)は、非常酸少素とする (6.5.5) (5.5.5) (6.2.2) (6.2.2) (7 本材保存剤 本材保養剤(木材の財産が効能剤)は、非常酸少素とする (6.5.5) (7 本材保存剤 本材保養剤(水の財産が効能剤)は、非常酸少素とする (6.5.5) (7 本剤(水の財産が効性) (6.2.2) (7 本剤(水の財産が利益) (6.2.2) (6.2.2) (7 本剤(水の財産が利益) (6.2.2) (6.2.2) (7 本剤(水の財産が利益) (6.2.2) (7 本剤(水の財産が利益) (6.2.2) (6.2	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
 政体管の原体情報間 ・原示による ・() [6.2.2] 最内(※19形 ・25形) 是外(・19形 ※25形) 最大(※19所 ・25形) 是外(・19所 ※25形) 最大(※19所 ・25形) 是外(・19所 ※25形) 最大(※19所 ・25形) 是外(・19所 ※25形) 最大(※19所 ・25形) 是外(・19所 ※25形) 最大(※19所 ・25形) 是外(・19所 ※25形) 最大(※19所 ・25形) 是外(・19所 ※25形) 最大(※19所 ・25形) とが(※19所 ・25所) 最大(※19所 ・25所) とが(※19所 ・25所) また(※21所)	※ 改修課任表6.16.4 による ・ () 内装型タイル接着利限り [6.16.4] [表6.16.	
及び下地補修 ・改修報任4、4、9 によるモルタル後り ・() (信. 6. 3) (長. 6. 3) (長. 6. 3) (長. 6. 4)	・ 有機質接着剤 (タイプⅡ) 施工箇所 (便所、器務室 種類 ・せっこう系 ・セメント系 [6.17. 設軍 () [6.17. ・ 液付け仕上げ塗材 (15.5.2) (表15.5. ・ 原び名 仕上げの形状 工法 信号	
(帯電防止ビニル床タイル(電象タイプ)の接着剤は、熱着はく陽形とし、製造所の指定する製品とする) おのボルトの原隔が900mmを超える場合の補強方法は、関示による	節軍 () [6.17. ・ 薄付け仕上げ節材	
・A種 ※ B種 ・C種 ・D種	呼び名 仕上げの形状 工法 僧 考	
6 木材 合法木材証明書を監督員に提出すること(ただし、仮数用木材を除く。)。 9 軽量軟骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 [6.7.3] ・ 複質木片セメント板 旧F ・12 ・15 ・18 ・21 ・ 普通木片セメント板 NF ・30 ・	・内装等金材W・京瑩状じゅらく	
・ 改修標仕表6、7.1 のスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ () ・ 改修標仕表6、7.1 のスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ () 1.0FK タイプ2 (無石橋) ※ 6 ・ 8	- 軽息骨材仕上げ飽材 (15.5.2) (衰15.5. 呼び名 仕上げの形状 工法 傷 考 ・ 吹付用軽量能材 B ・ 砂壁状 吹付け ・ ご能用軽量能材 - 平た人状 こて能り	
製材及び連作用集成材の含水率 ※ A種 ・ B種 [6.5.2] 表6.5.2] - 「製材の日本農林規格」による下地用件業権製材 [6.5.2] 本 ・ ロックウール化粧仮者板 DR ・ フラットタイプ (・ 9(不癒) ・ 12) 本	* こく面が物を重ね材 * 平たん状 こく辿り	
のかいかの ・ 復居ビニル床シート(FS) ※ 模様 ※ 2.5 ・ 前動物置性 ・ ロックウール侵音ボード1号 RW-B ※ 25・ ・ ロックウール侵音ボード1号 RW-B ※ 25・ ・ バラスクール侵音ボード1号 RW-B ※ 25・ バラスクール を表示 できまった ロール・ロール を表示 アントル による (TM-D) を表示 アントル による (TM-D) を表示 RW-B ※ 25・ バラスクール による (TM-D) による (TM-	************************************	
・「製材の日本農林規格」による広業雑製材 施工館所 製種 寸法 等級 形状 個男 施工館所 製種 寸法 等級 ※ 特等・1等・2等 加工館所 区分 種類 色柄 寸法 厚さ 特殊機能	表面仕上げ材 ※ タイルカーペット ・ 帯電防止炭タイル 床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製、ステール製又は複合材等 帯造材の材質 ・ アルミニウム製 ・ 網製 (仕上げ:) 配線用取り出し フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合	
・接着・単層に二ル床タイル(TT)・無線 ※300角 ※2.0 ・ 希電 12.5(不厳)・幅440m履度 (株田・坂子ルル(TT)・無線 ※300角 ※2.0 ・ 希電 12.5(不厳)・幅440m履度 (株田・坂子ルル(TT)・無線 ※300角 ※2.0 ・ 高電 12.5(不厳)・幅440m履度 (株田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田・坂田	パネル ・ 20~30% ・ () 紅藤取り出し関ロ ・ パネルは状につき、40mm×80mm程度の関ロ1箇所以上 空間用吹き出し ・ 20 (吸い込み)パネル ・ あり、形式及び施工箇所等は、図示による)	
造作材の材面の品質の基準 ※ A電 ・ B電 接面の材種 生地、通明節料動り 後面の材種 生地、通明節料動り 後面の材理 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ローラングロートで性態 ※ 適用しない ・ 適用する (適用金:) (20.2.	
・「集成材の日本農林規格」による途作用集成材 (※ した程度 ・) 製面の品質() 製面の品質() 製面の品質()) 要を(mm)() 製作の程度()) ** 数質 ・ 複数 ・ 次弦 検討が耐面の品質 (※ 1等) ・ 2等	構造形式 構成基材の種類 メラッド メラッド バネル メラッド式(角膜) ・ アラットス ※ 30以上 ・ スタール ※ ・ スタール ※ ・ スタール ※ ・ 12	
・ 「無成材の日本農林規格」による化粧薬砂造作用集成材 [6.8.2] 第二箇所 化粧鞭板 本材の 大法 大統化統合板 第二箇所 被職 下禁水化統合板 第二箇所 被職 下禁水化統合板 第二個所 被職 下禁水化統合板 第二個所 被職 下禁水化統合板 第二個所 被職 下禁水化統合板 第二個所 大統木化統合板 第二個所 本報	・ パネル式 ・ ガラス系 ※ 60以上 ・ 20 ・ スタッドパネル式 ・ アルペニウム ・ () ・ 28 合金系 ・ 36	
・第成材の日本農林規格」による化粧硬別構造用集成柱 [6. 5. 2] 第二箇所 化粧薄板 大化粧薄板 横工箇所 大田 原立 横工 原立 大田 原立 大田 原立 大田 大田 原立 大田 原立 大田 大田 原立 大田 原立 大田 大田 上田 原立 大田 原立 大田 大田 東京 大田 原立 大田 大田 東京 大田 東京 大田 東京 大田 東京 大田 東京 大田 東京 大田 東京 大田 東京 大田 東京 大田 大田 東京 大田 東京 大田 大田 東京 大田 東京 大田 東京 <td> 接作方法 接解さ(m) 表面仕上げ村 連合性上げ 接番性上げ村 接音性 様件方法 接条で(m) 対質 パネル表面仕上げ (6B/500Hz ・手動式 ・ブッシュ式 ※ 60程度 ・ 郷板 ※ ・ 豊板美 ・ ・ 36未満 ・ 36未満 ・ 250上上 ・ 30名法世 ・ 250日上 ・ 30名と</td>	接作方法 接解さ(m) 表面仕上げ村 連合性上げ 接番性上げ村 接音性 様件方法 接条で(m) 対質 パネル表面仕上げ (6B/500Hz ・手動式 ・ブッシュ式 ※ 60程度 ・ 郷板 ※ ・ 豊板美 ・ ・ 36未満 ・ 36未満 ・ 250上上 ・ 30名法世 ・ 250日上 ・ 30名と	
- 「集成材の日本農林規格」以外の液作用集成材 [6. 5. 2] 施工箇所 樹種 寸弦 見付け材面の品質	部分電動式	
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧調り途作用集成材 [6. 5. 2] 施工箇所 化粧青板 お付い 機工 原ご 数据 「大法 見付け対面の品質 保持 の品質 (6. 9. 3] 「おりエステル 海路化粧板 ・ と思考な お付い ・ こードルペンチカーペット 「6. 9. 3] 「日本 「日本 ・ カット / ループパイル ・ エードルペンチカーペット 「日本 「日本 「日本 ・ カース・アイル・ボード 「日本 ・ カース・アイル・ボード ・ カース・アイル・ボード ・ カース・アイル・ボード ・ カース・アイル・ボード ・ カース・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・	(20.2. 表面材の種類 脚節の形状 形式 材質 ※ メラジン樹脂系化粧板 ※ 幅木タイプ ・ 類準 ・ アルミニウム製	
	・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ R ※ ステンレス製 ・ 表面材と同等	
A=B D 接種 厚さ 対理	種類	
第工箇所 厚さ 表面の化粧加工 防魚処理 優考 ・	プロックパターンはJIS T 9251による	
・ 単級機構が日本農林機構・以外の連作用単級機関が 第工備所 厚さ 数処理 億分 ・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 強装加工) ・ 適用する) ・ 適用する) ・ 適用ない 音水率 ※ 14%以下 ・ () ・ 準件仕上げ ・ 差 () ・ 適用しない ・ 意水率 ※ 14%以下 ・ () ※ エポキシ樹類系施床 ・ 浮鉄池上が ・ 原製液儿座ペ ・ 平常仕上げ ・ 原製液儿座ペ ・ 平常仕上げ	対機 機(mm) 取付工法 ・ステンレス観(SUS304) ピニルタイヤ入り ※ 35 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
情報による材の欠点がないことを金製機関すること ・ 推闘モルタル 19 聖紙張り 19 聖紙張り 19 聖紙張り 10 7ローリング張り 16 7ローリング張り 16 7ローリング張り 16 7ローリング張り 16 7ローリング張り 17 次表 ・ 第不法 ・ 第本 ・ 第	床仕上げの異なる箇所には日地棒を入れる。 (20.2. ※ ステンレス製 □ 型 (編40組度 ブ1.5) ・ ステンレス製 5×12 ・ 黄銅製 6×12	
・ ・ 2種 ・連用しない ・ 連用しない ・	対策 表面仕上げ 直径(mm)	
** ・ 株金用パネル [6.5.2]	・ステンレスペプ ・HL ・45 ・無製・ペプ ・EP-G ・SOP ・ビニル製へンドレール ・ * 2要手り **おめ防止材共	
・ 新漁用合板 「6.5.2] ・ モザイク 接着工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<td color="2" color<="" rowspan="2" td=""></td>	
	熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事(第 I 期)	
熊本県建築改修工事特記仕様書 設計者氏名 一級 建築士 大臣 登録第 133907 号 管理建築士 福島正継 印	建築改修工事特記仕様書(その3) 図面番号 A-03	



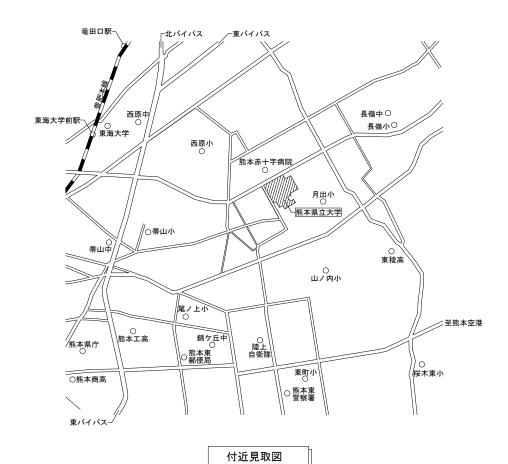
		1	1	T			
8 2 あと施工アンカー の の施工 5	あと施工アンカーの施工機能試験 · 実施する。 · 実施しない。 [8.11.5] を 機能は動力法及び試験数 ※ [8.11.5] による。 · ()	3 (グラウト工事) ウ 1 モルタル及び 7 グラウト材	精造体用モルタル ※ [8.2.6] 及び [8.2.11] による。 ・ (無収離モルタル村 ※ (7.2.9) 及び [8.2.11] による。 ・ (9 1 アスベストの処理 環 策	5	9 5 透水性アスファルト 輸装 路床の構成及び仕上がり ・ 遮断層 厚さ (mm) ※ # ・ () ・ 液上射解層 厚さ (mm) ※ # ・ () ・ アイルター層 ※ # ・ () 環 ・ アイルター層 厚さ (mm) 車道部 ※ # ・ () ・ ()	
耐震改修工	確認強度 ※ アンカーの側材による引張荷重、またはコンクリート破壊による引張荷重 (組め込み及びへりあきの影響を受ける場合は低減した荷重) のかさい値の2/3とする。 (接着系の場合は、付着破壊の荷重も考慮する) ・ (対 支 女 を に (現場打ち鉄筋コンクリー	March 14	版 (グリー	連集物などの保全技術 ・ 技術審査証明事業により証明された集替及び工法とする。 分析によるアスペスト含有調査 ・行う ・行わない	配 請床安定処理 ※行う (添加材料) ・行わない 慮 盛土の健別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (金板発生土受入量 () m3 発生場所 (
あとと	穿孔前の埋込み配管等の探査 [8.11.2] 範囲 ※ 関示による かと施工アンカー施工部分全て ・ () 方法 ※ 鉄路探知場(企具探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に量出を行う。 ・ はつり出しによる。 ・ ()	ト壁の増設工事及び鉄骨 ブレースの設置工事等) 2 既存構造体と増設 壁との取合部の 処理方法	増設の現場打ち軟筋コンクリート整と 販売格益体との隙間の処理方法 部 位 処分方法 備 考 ※ 7分介内を注入 ※ 寸法は図示による	ン) 改 修 エ	7.7ペスト粉じん機能測定 ・行う ・行わない 調 定 麻 調 定 底		
鷹 (場所打ちコンクリート エ 壁の増設工事) ア 3 シアコネクタ カ	場所打ちコンクリート壁の打増都に用いる既存都とのシアコネクタ [8.2.4] [8.3.4] 機類 ※ 金属系名と施工アンカーの具形差骸アンカー・・ 接着系名と施工アンカーの具形差骸アンカー 径 (mm) ※ D10	<u> </u>		*	以下 3点 測定2 調査対象重外部の付近 2点 大気 処理作業中 測定3 処理作業重内 ※に同じ 測定4 負圧、除じん装置の排出吹き2点 大気 出し口 (風滅1m/s 以下の位置)	工 ** 構外指示の場所 ・	
*	長さ(mm) ※ 増打董厚-40 ・ () 影込み探さ(mm) ※ 5d (d: シアコネクタの径)以上 () 関隔(mm) ※ 500×500				別定5	・ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン・飲顔スラグ ・ ()	
	シプコネクタとセパレーターの兼用 [8.7.8] ※ 兼用してもよい。 ・ 兼用しない。 ・ ()				満定点合計 (点)※ プラステック2重像による密射処理 [9.1.3(b)(2)]	歩道都 ※ # ・ () 路盤の締備め底試験 ・ 行う。 ・ 行わない。	
(鉄骨工事一般事項) 8 の 6	(7.1.3)[8.1.5] ・ 監督員の未確する工場 ・ 建築基準改第77条の46第1項に基づを国土交通大区から性能評価機関として配可を 受けた(後)日本教育評価をシターアは(後)全国教育評価機構の「総育製作工場の 性能評価基準」に定める、下配のグレードとして国土交通大区から販定を受けた工場又 は同等以上の能力のある工場 ・ H ・ M ・ R ・ J グレード	3 (連続機権補強工事) 1 連続機能シート等 による工法 2	連続機構による補強、補修工法 ※ (財)連集的災傷会の軒値を受けた工法とする。 ・ () ・ 災害機嫌 ・ アラミド機嫌 ・ ガラス機様 ・ () [8.2.12]	○ 2 アスペスト含有成 形板の処理等	・ () アスペスト含有差材の取り扱いについては、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令21号)を遵守すること。 アスペスト成形板の種類等 [9.1.5] 種類 厚さ(mm) 借考	#接材料及び仕上り [9.7.6][9.7.6] * 東道部 ※ ポリマー改賞アスファルト I 種 厚さ ※ ま ・ () () * 歩道部 ※ ストレートアスファルト 厚さ (mm) ※ ま ・ () () 通水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う。・ 行わない。 [9.7.9]	
震改	<td color="2" color<="" rowspan="2" td=""><td>度 女 **</td><td>※ 一方向機線又は一方向シート ・ 二方向機線 ・ ()</td><td></td><td>・化粧せっこフポード ・9.5 ・ ・ビニル度タイル ・2.0 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>工事務合</td></td>	<td>度 女 **</td> <td>※ 一方向機線又は一方向シート ・ 二方向機線 ・ ()</td> <td></td> <td>・化粧せっこフポード ・9.5 ・ ・ビニル度タイル ・2.0 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>工事務合</td>	度 女 **	※ 一方向機線又は一方向シート ・ 二方向機線 ・ ()		・化粧せっこフポード ・9.5 ・ ・ビニル度タイル ・2.0 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工事務合
(1) 工 事	- 7		F	・	3 断熱材	外新熱及び新熱材打込み工法 [9.3.2] [9.5.2] 種類 種別 厚さ(mm) 施工 糖 所 ・押出法ポリステレンフォーム ・保温板 (2種b) ・25・	別表 - 1 の配入上の注意 鉄当箇所は母 (黒塗り)とし鉄当しない工事内容及び区分欄は斜線開去すること 別表 - 1 数備工事との工事区分表
鉄	一、手籍接技術者 下向及び横向で板厚 ()mmの資格を有するもの ()名以上 舗	生 乾	・ () ヤング係数 (含浸硬化後) ・ 230GPa程度 ・ ()		- 保理板 (3種b) ・25 ・ ・接地部分 ・ ・ ・ 接地部分 ・	配電盤・制御盤の基礎 屋外 ○	
〒 2 施工管理技術者 事 (鉄骨材料) 3 鋼材	教育製作管理技術者の適用	性 3 連続繊維シートの 育 施工準備 食	仕上げモルタルの除去 ※ 既存構造躯体面まで除去する。 ・モルタル除去は行わない。・() 既存モルタルの圧縮強度領定		既存外壁の処置 [9.3.3] 下地面の指揮 ・ 行う	電 気 関 係	
	(8.2.7) [後8.2.7]	•	・行う() ・行わない。 住の開角部の面散り [8.21.7] ※ 工法の腎偏内容により、半径は20mm又は30mmとする。 ・()		下地面欠損害の改修工法(園内設備(集合、アンカーボルトを除く) 機 棟 関 係 屋上設備 (n) ○ 屋外設備 (n) 図外設備 (n)	
4 高力ボルト	高力ポルトの適用 (7. 2. 2)[8. 2. 9] ※ トルシブ形高力ポルト	4 炭素繊維シートの 施工			通気層 ・有 (厚さ) ・無	特配した基礎 O 聚、床 壁 補強を要するもの 質遇スリーブ 補強を要するもの 聚、床 壁 補強を要するもの	
(飲骨工作)	(観定セットの機類 ※2種(S10T)・()) ・ 溶凝亜鉛めっき高力ポルト (認定セットの健類 ※1種(F8T相当)・ ())	5 連続繊維補強材の	炭素繊維シートの巻き数 ※ 関示 ・ 1巻き ・ 2巻き ・ () 引張独皮試験 [8.21.7]		- 新熱材現場発泡工法 [9.5.3]	貫通節型枠 補強を要しないもの ○ 軽量軟骨下施・整、 補強を要するもの ○ エポポージをのが3	
5 仮組	仮組の実施 (7.3.10)[8.12.9] ・ 実施する () ・ 実施しない。	独度試験	- 実施する (JIS K 7073 に準処する) ※ 実施しない。 幹額教養 () 付着過度的数		- A第2 - 部分的に後張りとしなければならない箇所 - A 第3	関 口 都	
6 技能資格者	溶接作集における技能資格者の技量付加政験		 ・実施する(JIS A 6909 に単処する) ※ 実施しない。 対験数量 () 	4 屋上綠化	B整2	上記回日節が盟回し ○ スリープの大連め (窓枠の六場のを含む) ○ フリーアクセスフロブ用配接器具 ○ 点 検 ロ 原 東 東 外 ○	
7 溶接条件	ス熱、パス関連度の溶接条件 (7.6.10)[8.14.10] 8 通用箇所 ・ 限示による ・ 住、架、グレース接合部の完全溶け込み溶接部	3 (耐震スリット新設) D 1 スリットの種類 O	耐震ルリットの需要及び形状 発金スリットの形状 一般型 一面せん新型		芝、地被頭の種類 ()	外部取付ガラリ ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む O 湯券室のフード O 換気層の設付枠 O 進し 普水トラップ共 O さん	
	類材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・ 図示による ・ ()		配号 形状 ※関示 ※関示 幅W(mm) ※関示 ・ ※関示 ・		見切り村 () (前装村 ()	渡 し 台	
8 溶接部の試験	完全部込み溶接額の超音数類傷試験 (7.6.11)(7.6.12)	文 女 ま	の始選・・切解してよい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		水抜き管 ()マルチング材 ()	■外排水管 雨水 ○	
	・ (7.6.11 (B)) による。 平均出金質原界 (AOQL) ※4.0%・2.5% 検査水準 ※類6水準・ ()	F	部分スリットの形状 片質スリット 関面スリット 配号 ※昭示 ※昭示			トイレ手すり (化粧かがみ) はめ込形洗面棚用カウンター (前板尖) ガスボンへ転倒防止用の債	
	ロットの構成 () 工事現場指統の場合 米 全教映像とする ・ (7.6.11 (B)) による。	ζ] γ	形状 ※図示 ※図示 ※図示 ・ ※図示 ・ ・ ※図示 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		風圧力に対応した固定方法 (かん水装置 ・ 設ける ・ 設けない		
	平均出験高質限界 (AOQL) ※4.0% ・2.5% 検査水平 ※第6水車 ・ () ロテトの構成 () 節	5 所 2	ts (mm)		種類()	類 機能	
(耐火被覆) 9 耐火被覆材の	・ () 関大被覆材の種別 (7.9.2)(7.9.3)[8.17.2][8.17.3]	L 	・切断してよい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			機器付無の制御整以降の2次側の配線配管 (接地共) 機器付無の制御整心の電源状治配管配線 ○ 自動制御整と助力整との電源状治の使引配管配線 自動制御整と助力整との電源状治の使引配管配線	
種別及び性能	耐火板原料の種別 使用循所 ・ 関示 ・ 関示 ・	- 7071 07MB T	範囲 ※ スリット新安部に伴う検修コンクリートの撤去の範囲全て。・ 図示による・・ 図示による・・方法 ※ 参筋探知機 (金属探知器)により探査し、検筋、配管額の位置に			電気配管配線 天井吊り形FCU、個別パッケージ、全額交換ニニット等の機器 C付黒機やエイッテとの認的配管 (接地点) アオルの形でには、個別パッケージ、全数支換ニニット等の機器	
	- 耐火材吹付け (7.9.4)[8.17.4] - 関示 - 吹付けコックウール - ・ 乾式 - 半乾式 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		量出しを行う。			と付属操作スイッチとの渡り配兼 天井吊り形でして、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチ 天井吊り形でして、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器	
	- 確立レックリール		※			と付属操作スッチの地込ボッカス 個別パッケージの弦内機、弦外橋の波り配線 (接地共) 煙感知能から運動制御座を経て防煙ゲンバに至る配管配線 ○	
	所要性能 8	3	※ 免膜改修、制度改修に関する仕様は、図示する。			小便器用第水装置の制御盤以降の2次側の配管配線 ガス備れ検知器 O	
		0				電 気 能 電気能及び適量を具 O (O) TENキー及び制御館 (O) O エレベーター出入日三方神 (金属説) O (O)	
	- 1時間耐火	5				エレベーター出入口 三方伸 (石製) O (O) シャワーユニット、パスユニット、表揮機ペン O O	
						システム天井 原明ライン設備プレート 立調ライン設備プレート	
				建築士事務所名	一級 建築士事務所 熊本県 知事登録 555 号 株式会社 太宏設計事務所	工 事 名 称 熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事(第Ⅰ期)	
熊本県列	建築改修工事特記仕様書			設計者氏名	一級 建築士 大臣 登録第 133907 号 管理建築士 福島正継 印	図 面 名 称 建築改修工事特記仕様書(その5) 図面番号 A-05	
•					•		

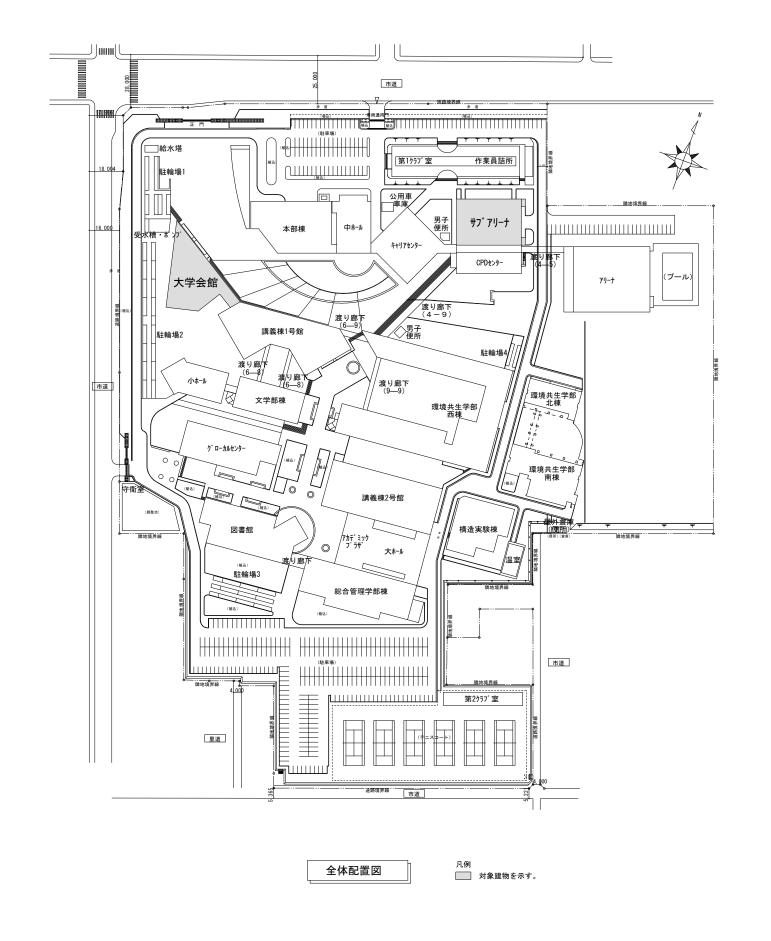
工事概要表

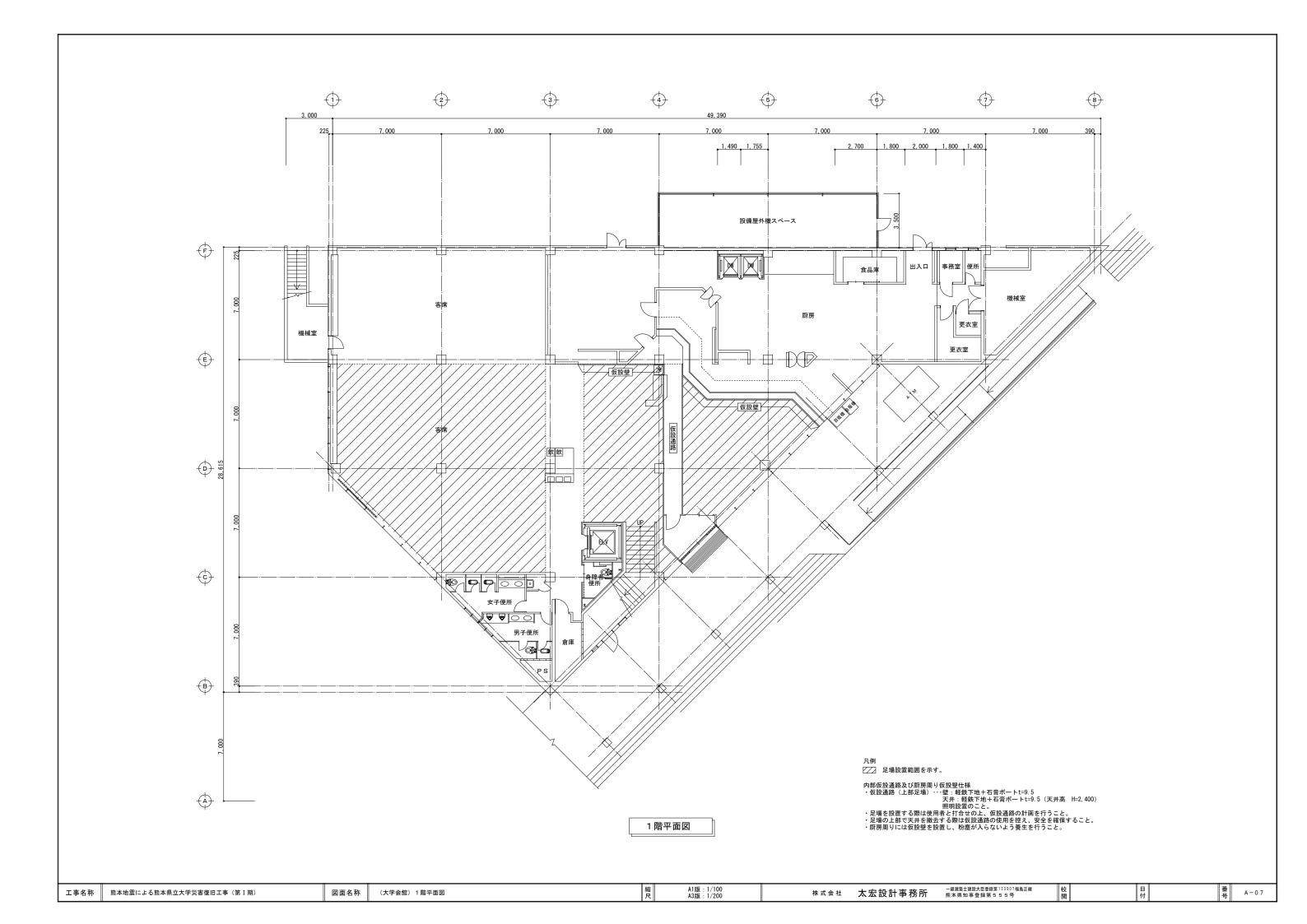
工事名称	熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事(第Ⅰ期)
工事場所	熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号
延床面積	大学会館: 1,190.39㎡ サブアリーナ: 1,347.58㎡
構造階数	大学会館:鉄筋コンクリート造 2階建 サブアリーナ:鉄筋コンクリート造 2階建
	大学会館: (内部) ①アルミルーバー撤去 ②柱、梁、壁: EP塗装 ③照明器具撤去・復旧、一部移設
	サブアリーナ: (内部) ①壁、天井: 有孔ボード撤去・復旧 ②天井: 化粧ケイカル板撤去・復旧
工事概要	③屋根:屋根支持金物ボルト再締め付け ④天井:joint見切板撤去・復旧
	サブアリーナ: (外部) ①屋根:軒先、妻側水切撤去・復旧 ②屋根:軒先、妻側樋シート防水撤去・復旧
	③屋根:ルーフドレン撤去・復旧

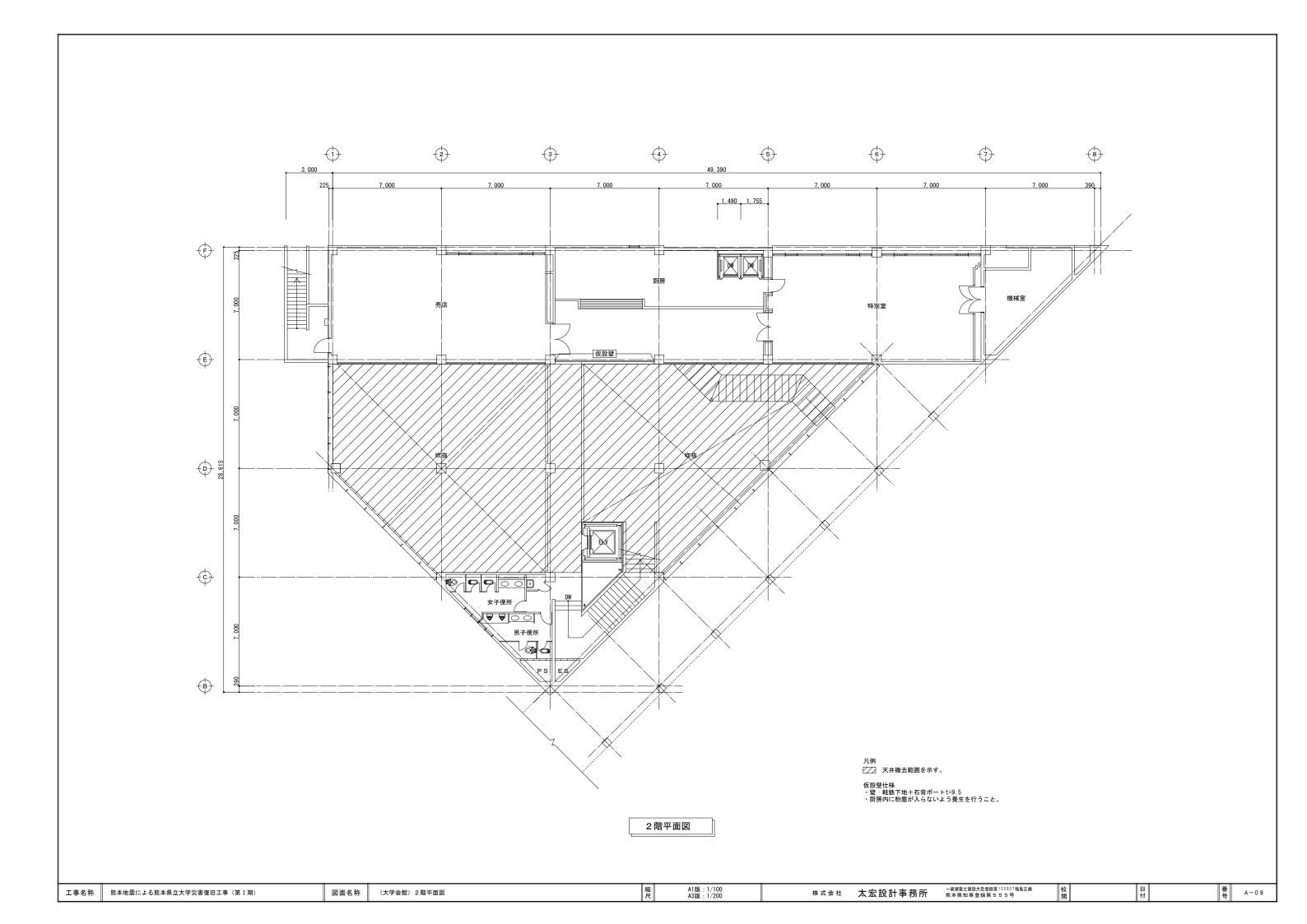
共通事項

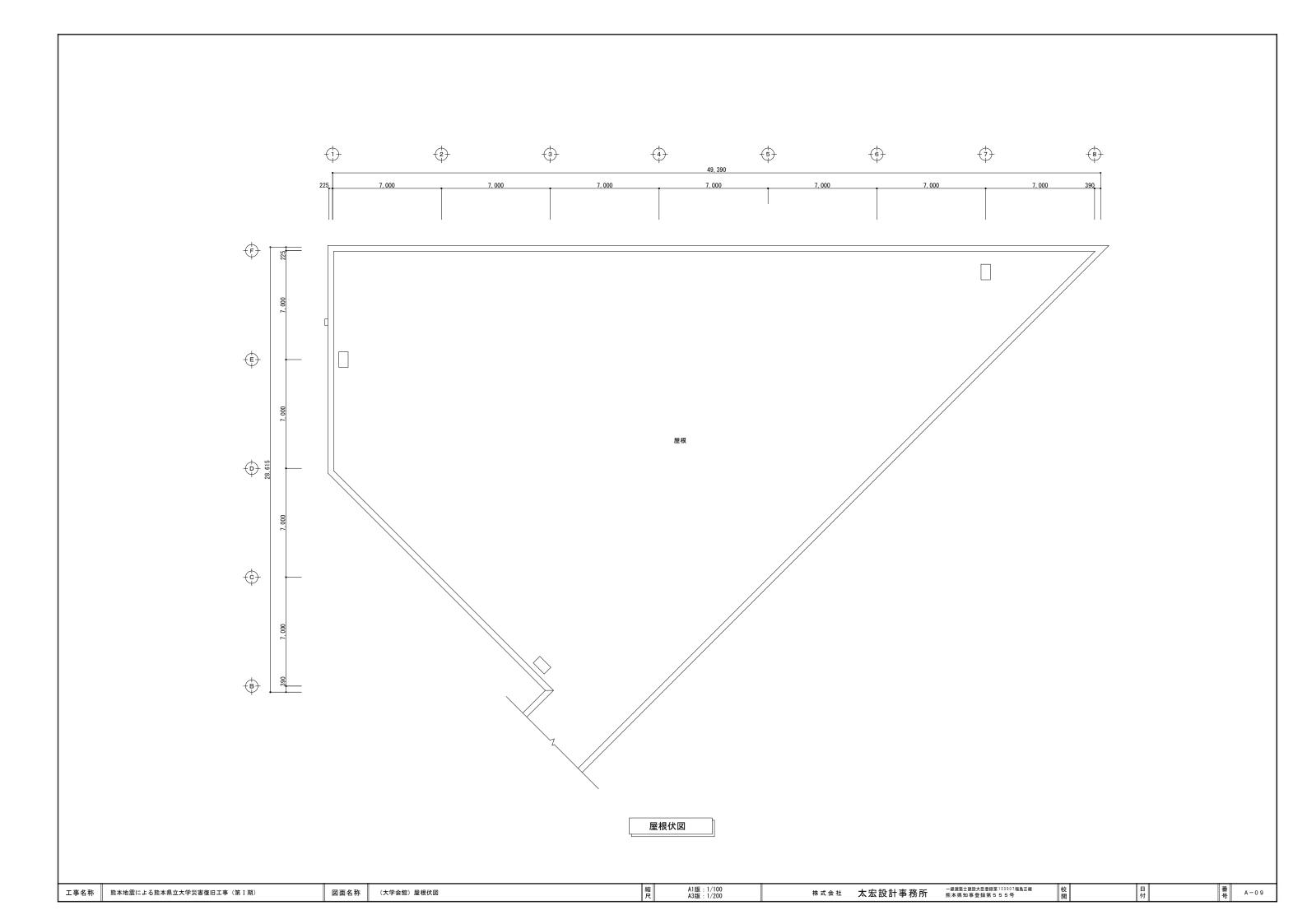
1	工事着手に先立ち、総合仮設計画書を作成し、監督員・発注者・施設管理者と協議を行うこと。
2	工事施工にあたり、工事部分と使用部分を明確に区分けし、必要な安全対策を講じること。
3	材料搬入、大型車両搬出入、騒音の懸念される工事においては事前に発注者と協議し、スケジュール管理を行うこと。
4	各種工事着手に先立ち、施工計画書を作成し、監督員の承認を受けること。
5	建築材料は全てF☆☆☆☆とする。
6	工事範囲以外の建物の部分、又は既設工作物等を破損した場合は現況復旧とする。
7	仕上げ材料の選定にあたっては施工前に管理者及び発注者と十分協議の上決定のこと。
8	床の養生はブルーシート+コンパネとする。
9	開口部は必要に応じて養生を行う。
1 0	掲示物は必要に応じて移設すること。
1 1	サブアリーナ天井材にアスベストの含有が確認されたため、撤去の際には適正な対策・処理を講じること。
1 2	サブアリーナ屋根支持金物ボルト再締め付けは、既存屋根の施工メーカーに確認のこと。

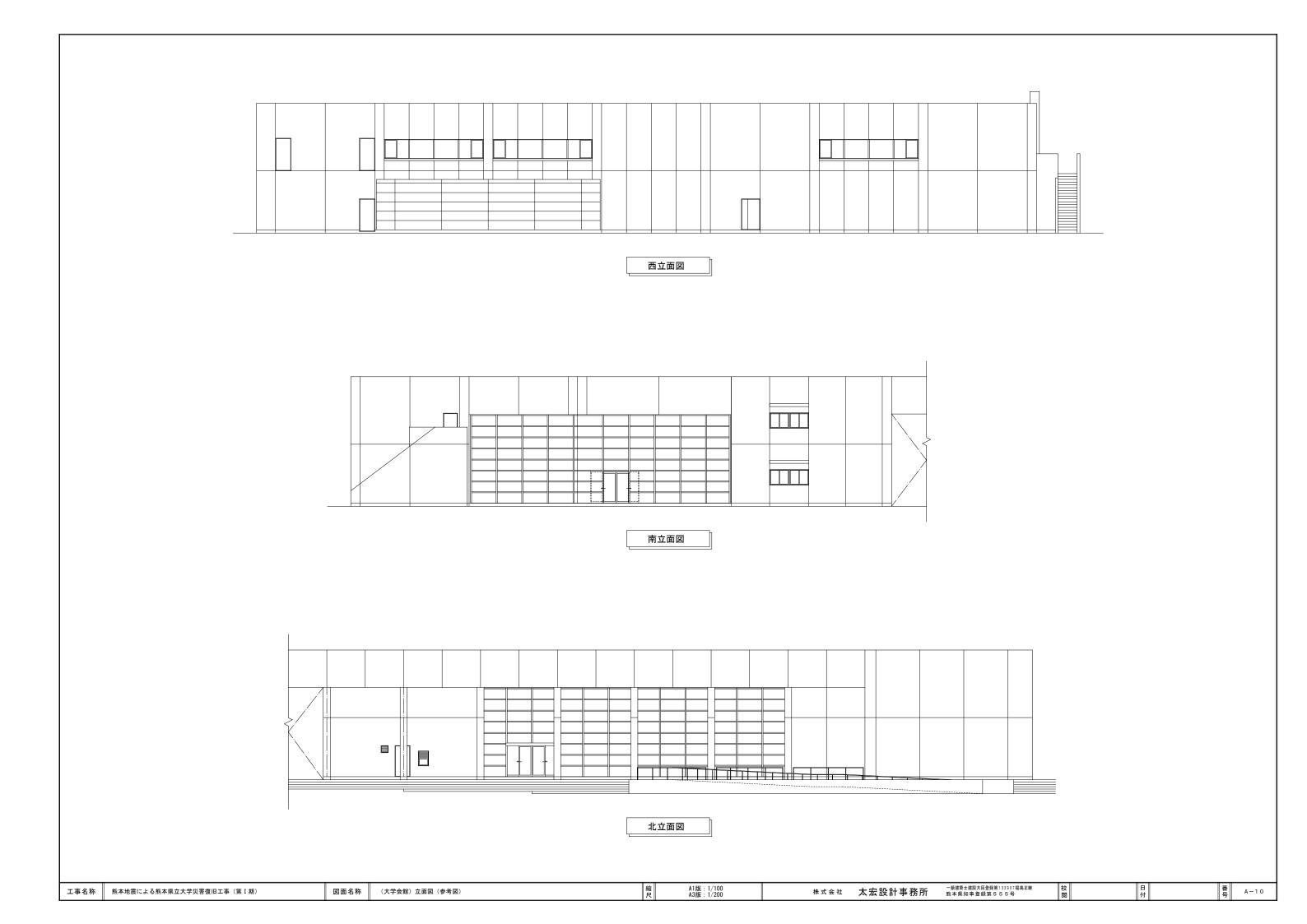


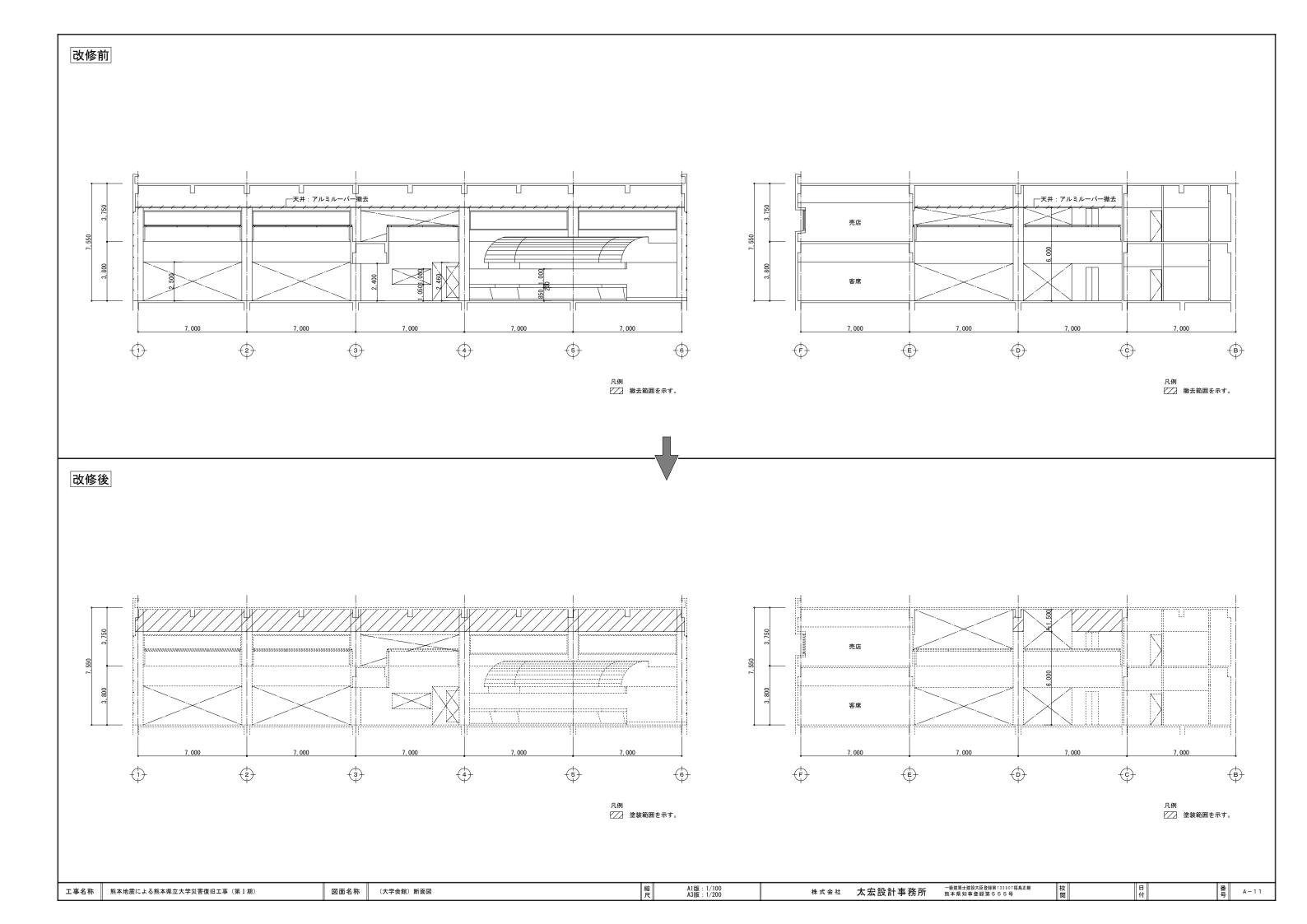


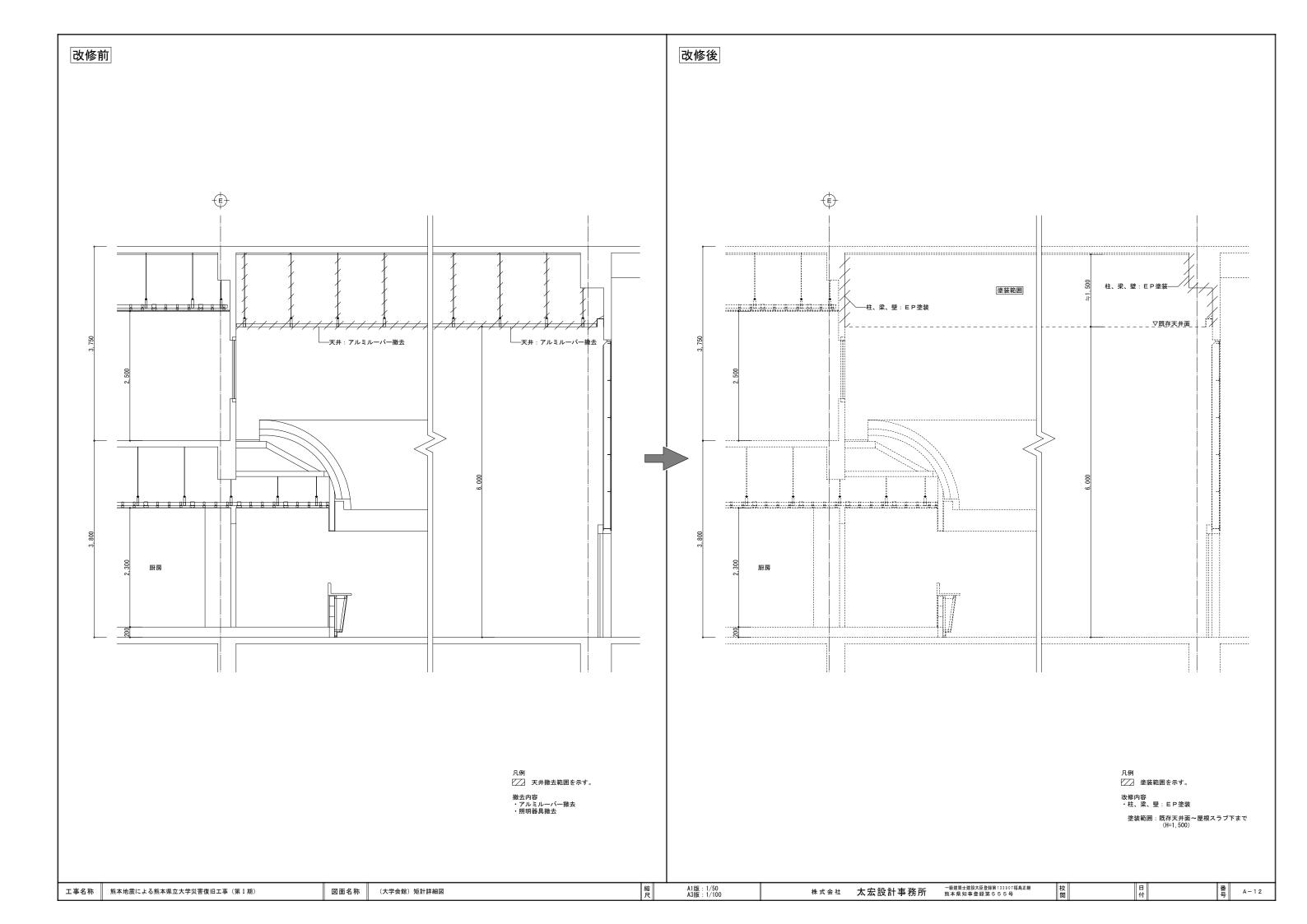


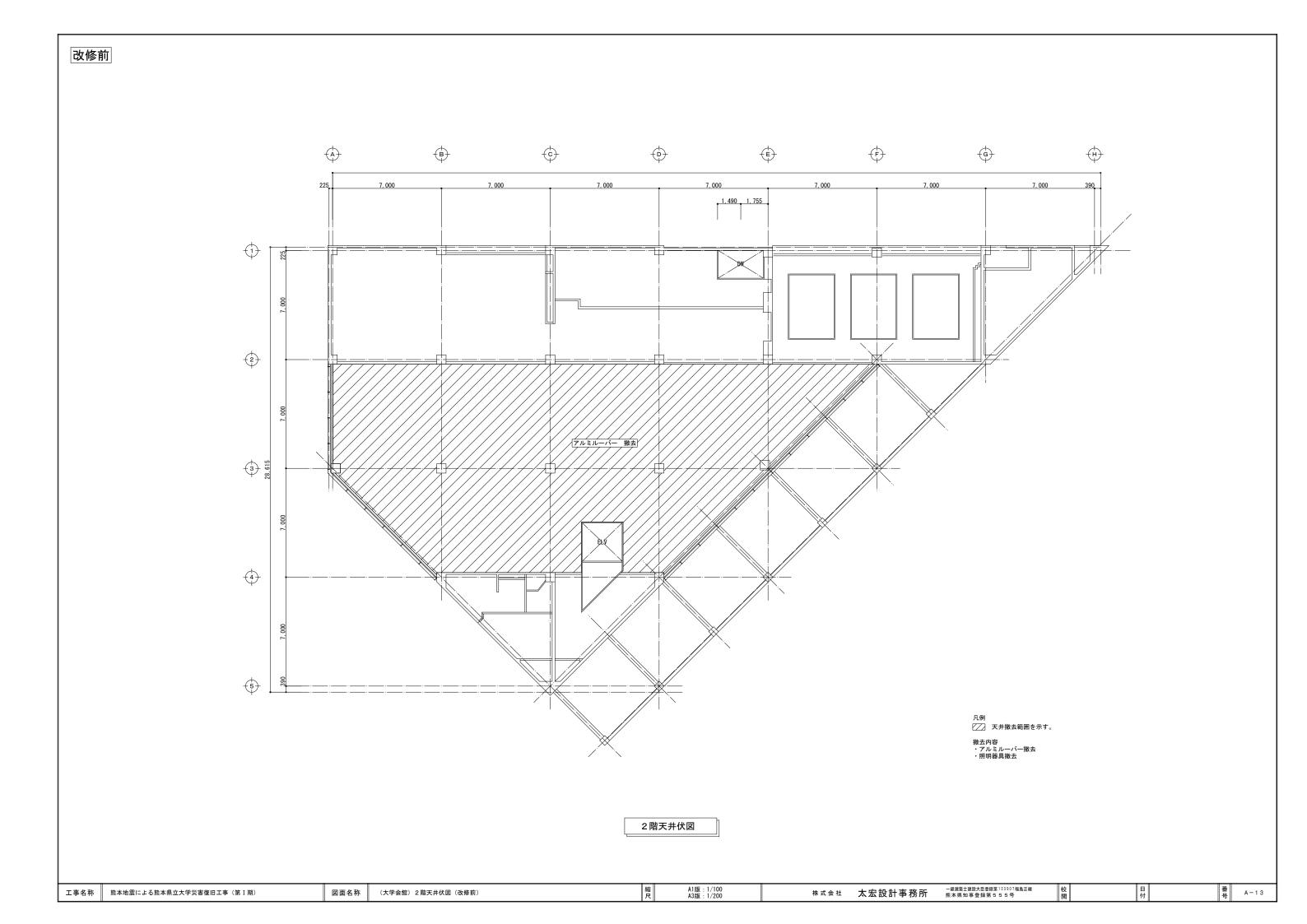




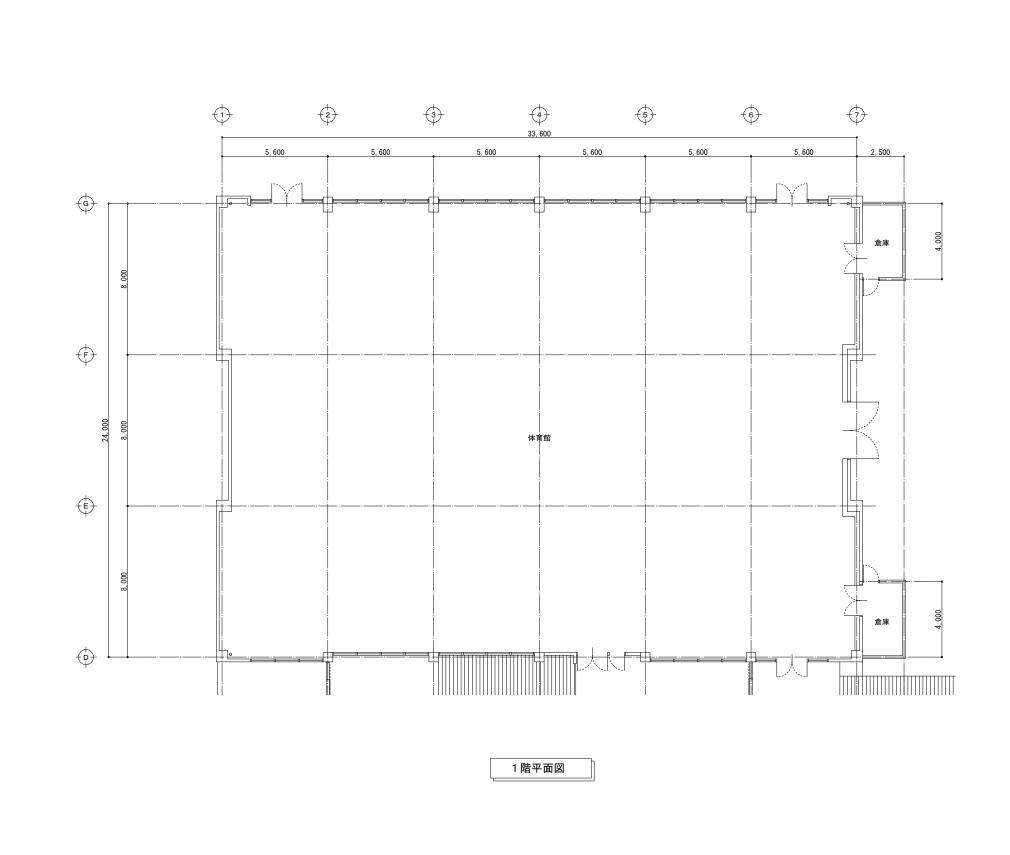


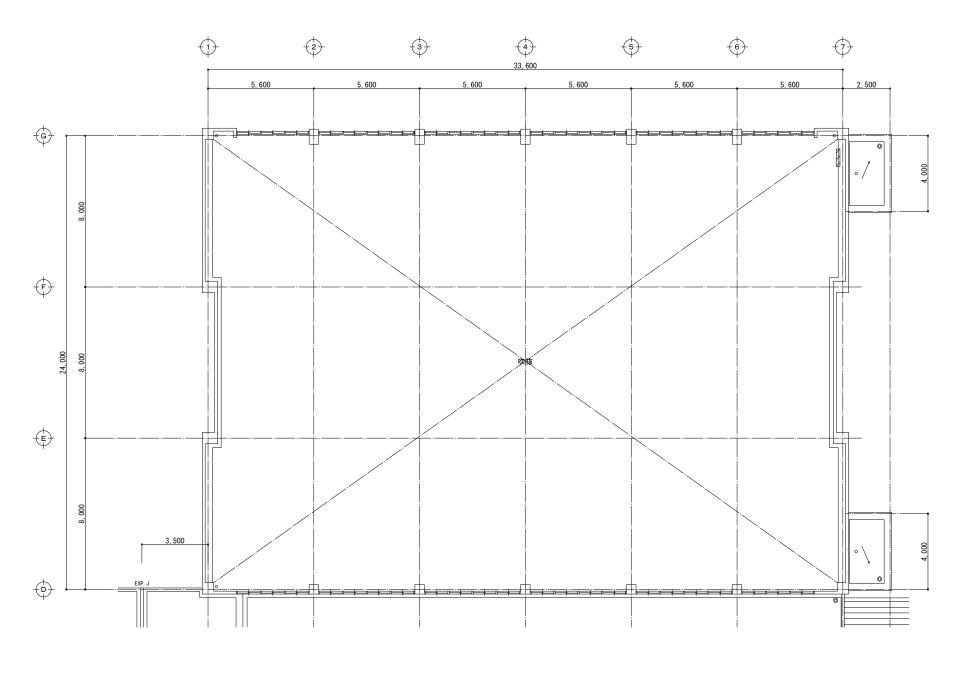






改修後 7, 000 7, 000 7, 000 7, 000 7, 000 7, 000 7, 000 1, 490 1, 755 2 28.615 4 5 柱断面・・・600×600 梁断面・・・G1 350×650 G2 600×650 (梁幅フカシ考慮) G3 630×800 (梁幅フカシ考慮) B1 300×600 塗装範囲:既存天井面~屋根スラブ下まで (H=1,500) 2 階天井伏図 A1版:1/100 A3版:1/200 一級建築士建設大臣登録第133907福島正継 熊本県知事登録第555号 番 号 A-14 図面名称 工事名称 熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事 (第Ⅰ期) (大学会館) 2階天井伏図(改修後) 株式会社 太宏設計事務所

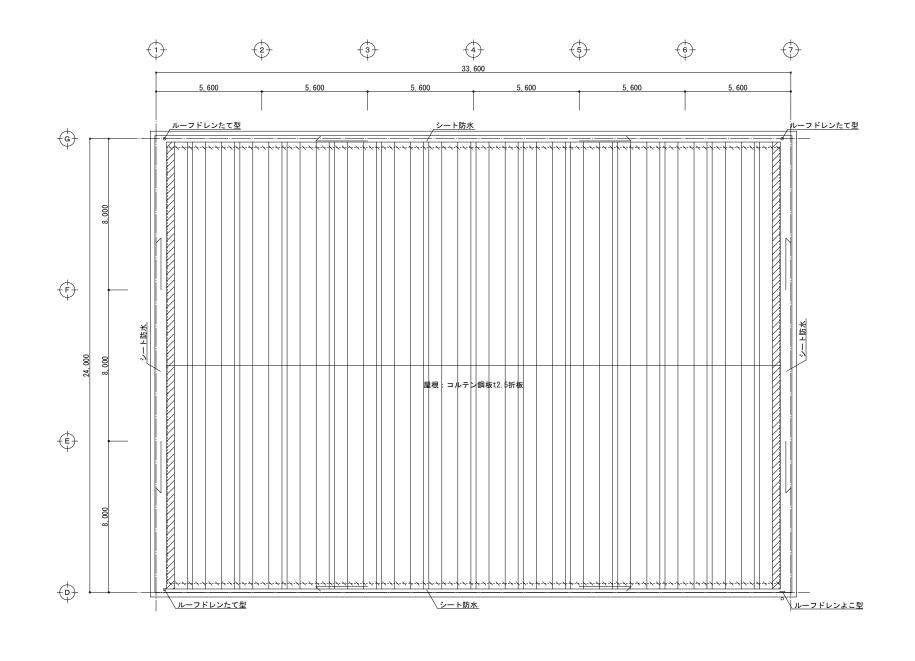




2階平面図

凡例 | 操有孔ボード 撤去・復旧範囲を示す。

改修内容 ・壁:有孔ボード(3枚分) 撤去・復旧 1ヶ所

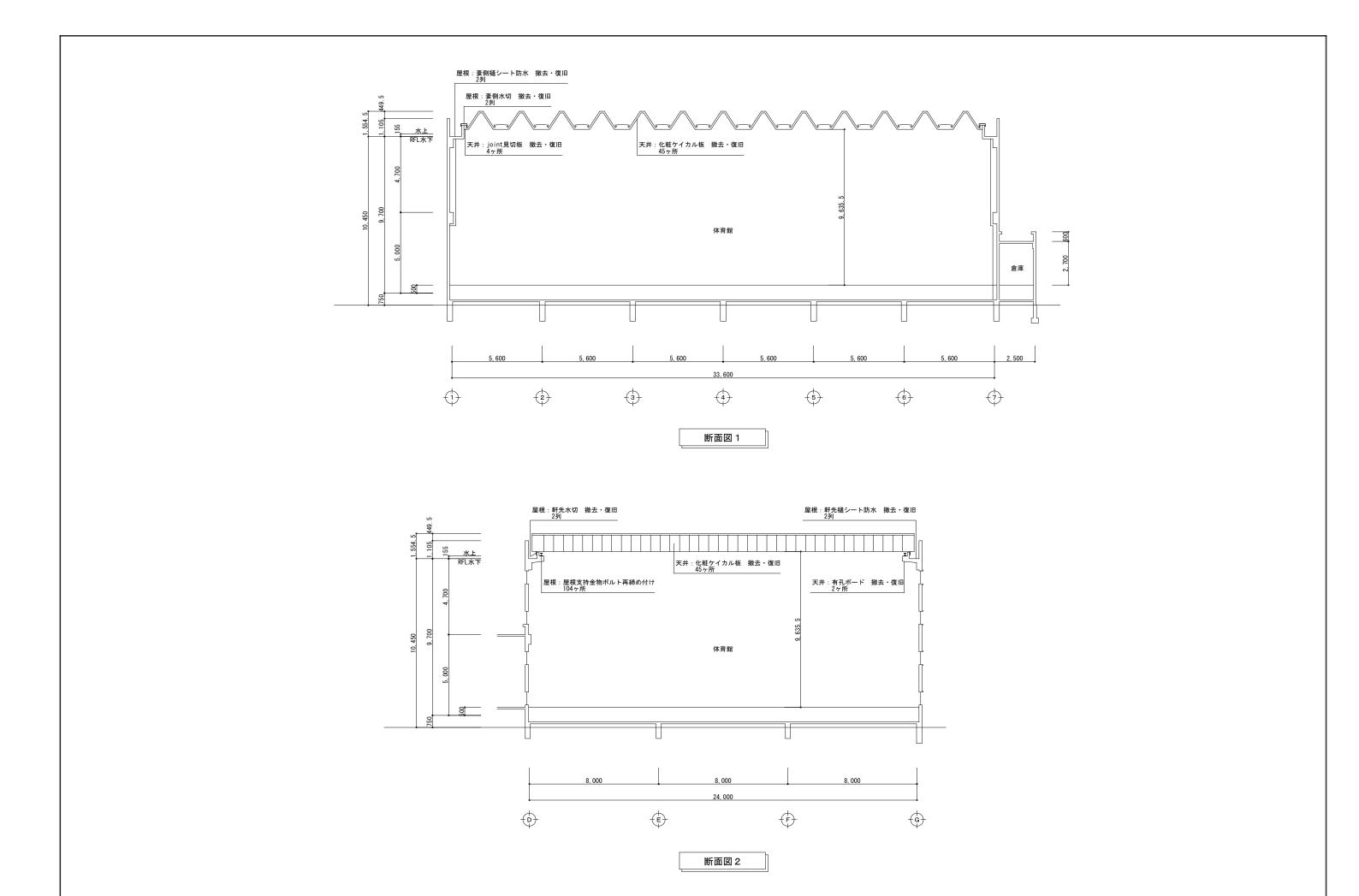


屋根伏図

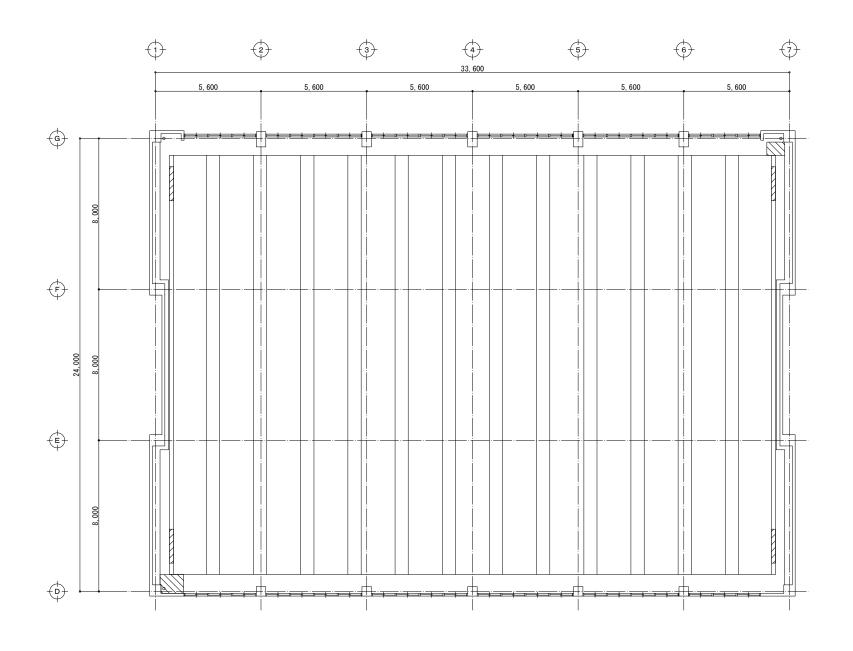
妻側水切 撤去・復旧範囲を示す。 軒先水切 撤去・復旧範囲を示す。

- な修内容
 ・屋根:軒先水切(W=100) 撤去・復旧 2列
 ・屋根: 妻側水切(W=450) 撤去・復旧 2列
 ・屋根:妻側水切(W=450) 撤去・復旧 2列
 ・屋根: 妻側縫シート防水(W=720, H=560) 撤去・復旧 2列
 ・屋根:妻側縫シート防水(W=670, H=560) 撤去・復旧 2列
 ・屋根:ルーフドレンたて型(150¢) 撤去・復旧 3ヵ所
 ルーフドレンよこ型(150¢) 撤去・復旧 1ヵ所





 工事名称
 熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事 (第 I 期)
 図面名称
 (サブアリーナ) 断面図
 縮限
 A1版: 1/100 A3版: 1/200
 株式会社 太宏設計事務所 熊本県知事登録第555号
 機関
 日付
 日付
 日付



2 階天井伏図

凡例 /// joint見切板 撤去・復旧範囲を示す。 有孔ポード 撤去・復旧範囲を示す。

- 改修内容
 ・屋根:屋根支持金物ボルト再締め付け 104ヶ所
 ・屋根:屋根支持金物ボルト再締め付け 104ヶ所
 ・天井: 化粧ケイカル板 (600×1000) 撤去・復旧 45ヶ所
 ※既存化粧ケイカル板はアスペスト含有物とする。
 ・天井: joint見切板 (L=1800) 撤去・復旧 4ヶ所
 ・天井: 有孔ボード (1㎡) 撤去・復旧 2ヶ所

一級建築士建設大臣登録第133907福島正継 熊本県知事登録第555号 A1版:1/100 A3版:1/200 工事名称 熊本地震による熊本県立大学災害復旧工事(第Ⅰ期) 図面名称 (サブアリーナ) 2階天井伏図 株式会社 太宏設計事務所 A-20

I 工事概要 1 工事名称	熊本地震による熊々	本県立大学災害征	复旧工事(第Ⅰ月	工事特記付	∵様 書	itie de	 図面及び仕様書に記載されている 契約締結後着工届を速やかに 	i書に基づくものとし、番付の工事内駅書は参考とする。 と製造所及び商品名は、製品の程度を示すもので参考とする。 出すること、現場代理人及び主任(優別)技術者活知書には、受注者に所属し、かつ、必要資格を有することが確認できる書 金収納書」及び建設労災補償共済制度の「加入証明書」(写し)もしくは労働災害使用者賠償責任保険等加入を配する4		1 12 技能士		I 製型枠底工技能士・1級コンクリート圧送施工技能士) ブロック及びALCパネル工事(・1級ブロック連集技能士) 作業)	(1. 5. 2)
2 工事場所 3 建物概要	熊本県熊本市東区	.为四9】日1每10	90 13			地 内	6 使用材料及び下請業者につい (1) 県産資材とは、県内で産	審員の系統、監衛員との協議等の要領については、工事整理要領に定めるところによる。 は、原直資材、県内企業及び勝数企業の採用に努めること。なお、県直資材、県内企業及び勝数企業とは、以下に該当す 、な重定は製造れたものをいう。 と音変用表を置く施設事業者をいう。 はなりなるのである。	るものをいう。 □	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- タイル工事(1級タイル張り技能士) - 屋根及びとい工事(1級産業を全技) - 金属工事(・1級天井仕上げ施工技能 - 左官工事(1級左官技能士) - 論装工事(1級施装技能士 (
1	建物名称 大学会館	構 造 RC造	階 数 地上2階	延面積 (㎡)	消防法施行令 別表第1区分 7項	備考	7 本工事は電子納品対象工事と 8 暴力団員等による不当要求又は なお、遵守していないことが判明 ① 不当介入を受けた場合は		・生じた場合は、発注者と		・ 雅具工事(・1級サッシ施工技能士・・ ・ 内装工事(1級内装仕上げ施工技能士・ ・ 内装工事(1級大装技能士(・ 植栽工事(1級造團技能士)・ ・ 授備工事(・配管技能士)・ 冷	銀ガラス施工技能士) : (作業)) 作業)) (作業)) 涼空気調和機器施工技能士 ・ 熱絶縁施工技能士 ・ 連条板全技能士)
3 4							「公共建築工事標準仕様書(電 なお、公共住宅建設にあっては 2 項目は、番号の前に 〇印 の付 3 特配事項に、〇印 の付いたもの 4 形状寸法の単位は、特配した場	を適用する。〇印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。〇印と※印の付いた場合は、両方を適用する。 合を除き ミリメートルとする。		13 特別な材料の工法 ○ 14 建設工事使用機械等	※ 建設工事による排出ガス対策型建設を ※ 建設工事に伴う騒音接動対策技術指	料の工法は、当該製品の特定工法による。	
	#法に基づき定められた風速 (V0)	(34 m/sec)				5 各章の特配事項欄にある(章 項 目	春さは新熊工事領導仕様書の章・節・項番号である。 特 配 事 項			※ 建設機械等のアイドリングストップを実	適し、その系検を行うこと。	
※ 建築基準	は法に基づき定められた積雪荷重	(25)				1 〇 1 適用基準等	ヤ IL デ ス ・ 連絡工事順等解図 (平成22年版) 国土交通省大臣官)		15 設計GL 〇 16 既存部分等への処置	※ 図示による。 ・ 現状地盤の平均	高さとし、監督員の指示による。 傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。	
※ 地表面和	A度区分 ・ I ・ II ・	ш • 17					1 O r Millson	・連築終骨飲計基準及び同解説 (平成17年版) ・構内舗装・排水配計基準 (平成13年版)	同上 同上	17 他工事との取合い	施工範囲 別表-1 による。		
	建物名	分したもの	2	3 4		屋外	— 般 共	・接壁数計車準間(平成12年版) ○ 公共推務改修工事類學社構者(建築・電気・機械数備工事編) (平成28年版) ・ 木造業業工事類學社學書 (平成25年版)	同上 同上 同上	18 建築材料	ホルムアルデヒド放散量	どが検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。	
	目 【灯・コンセント設備 P線・動力設備	0	-				事	○ 公共権務役権工事得罪図(電気・機秘股僧工事機) ・ 施報物解体工事法追仕権害・同解説 ・ 教務コンクリート工事模準図	同上	設備機器等	使用すること。	は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生資源和☆☆ ・ ()	I用できるものを積極的に
4 1	t熱設備 保護設備 交電設備							・ 使骨工事理即回		19 化学物質の濃度測定	・行う。 ・行わない。	B針値以下であることを確認し、報告書を整督員に提出すること。	(1. 5. 9)
6 1 7 3	1.力貯蔵設備 1.電設備						○ 2 電子納品に関する 事項	(電子納品に関する基準) 電子納品に関する基準は、「熊本県電子納品運用ガイドライン(業)※1」(以下、熊本県ガイドライン)による。			対象宣名 : (パッシブ型・その他	
9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								(電子納品) 電子納品とは、各業務股階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、第本限ガイ に基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途、監督員と協能 (電子データの資令) 本工事では、設計間CADデータを貸与する。(CADデータの著作者は設計者)		○ 20 工事写真等		第工本写真撮影要領」による。 用写真の撮影は、デジタルカメラを使用すること。また、完成写真は、下配集者の首 建等 ① 監督員の承諾を受けた撮影者	最影とする。
14 F 15 7 16 7 17 9	等等支援股備 ド出股備 シビ共同受信股備 ・レビ電波障害防除股備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・							なお、貸与されたCADデータを当該工事における施工圏又社完成圏の作成のため以外に使用してはならない。 (電子前品に要する歴史) 電子化に取する費用は共通仮設費に含まれている。 ※:撒本県ホームページの土木部・土木技術管理駅のデータを参照(ダウンロード可) 無本県HP http://www.pref.kumamoto.jp/soshik/93/kijun.html		○ 21 完成図	また、施設引渡し品がある場合、その受 勝画復写図 (A4版折込み製本2部、 試験成績衰、保証書、取扱説明書等	2つ折り製本1部)	(1. 7. 1 1. 7. 2)
19 E	日動火災報知設備 日動閉鎖・非常警報設備						3 工事実績情報の 登録(工事カルテ)	※ 要 (提出先: (一財)日本建設情報総合センター) エ等実績情報サービス(CORINS)	(1. 1. 4)	〇 22 施工図	熊本県電子納品運用ガイドライン(案)の(
22 🕏	中央監視制御設備 5犯設備 【気時計設備						〇 4 品質計画	※ 品質計画については、整管員の承諾を受けること。	(1. 2. 2)	○ 23 保全に関する資料	当該建築物の取得する施工図等の著作材 ※ 提出する。 ・ 提出しない	権に保わる使用権は、当該連集物に限り発注者に移譲する。 ハ	(1. 7. 1 1. 7. 3)
24 <i>9</i> 25 #	灯設備 内配電線路						5 電気保安技術者	※ 適用する ・ 適用しない	(1. 3. 3)		提出部数 ※ 2部・() 部	(22
	非内弱電線路 (去工事	0					○ 6 施工条件 ○ 7 発生材の処理等	※ 現場販明書による ・ 図示による 引波しを要するもの ())	(1. 3. 5)	24 県有施設台幔		い。 要事項を犯入のうえ監督員に提出すること。 V形式のいずれかによる電子データを含む)	
工事:	建物種別及び屋外 質目 E気調和設備	かけしたもの 1	2	3 4		屋外		引致と場所 ※ 橋内 ・ ()		〇 25 保険等	(1) 保険の種別 · 火災保険 ○ 組立保険	第1項により、次の保険等(その他これに障するものを含む)に付さなければならな 又は速散工事保険 (簡美泉書携書語質責任招保特約付き) 及び工事材料(定給料料を含む)(機書賠償等特約を含む)	:610
4 E	₹気設備 - 煙設備 - 動制御設備 - - - - - - - - - - - - -							原則にして再変器化施設とする ②仮置き等 必要な場合は、法律に返反しないように適切に処理すること。 現場において再利用を図るもの、再変器化を図るもの 差配廃棄物処理実施計画者、差配原棄物処理実施集計表及びマニュフェバ伝展の写し等を養 差配割連動物構定炎法ンテントと登場し振列書を提出する。	出すること。		・その他	後(原則とする)適令かに加入し、工規末より30日間以上 () 前負金額に相当する金額 ()	
	F水設備 合湯設備							聖像に関する問い合わせ先: ((一財)日本施設情報総合センター 内 悪設制施物情報センター TEL.(03)5505-0410 FAX 工事者工時に再生資源利用計画者と知識計画者を提出、工事者下時に		〇 26 安全施工実施対策	※ 建築工事安全施工技術指針にしたが	い、工事の安全確保に努めるとともに、安全・訓練等の実施状況報告書を監督員へ	提出すること。
10	F房設備 すス設備 ▶化槽設備 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・							実施書及び厚生養薬利用促進業施書を提出すること。 自社処分 自社処分の場合で、処分が困難となった時は、監管員と協能すること。 ・ 施設リサイクル法 ・ 単工時に、再受業化等報告者を宣言員に提出すること。 産業商業物税 本工事で送生する施設廃棄物のから、見内の最後投分者に関小する施設廃棄物については 必遇に保み受し (第二年度業務を対しませないで油工に処理すること。	は、産業廃棄物の	○ 27 官公庁への 諸手続き等	関係官庁、電力会社等への手続きは、す	べて酵魚者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。ただし、特	配ある事項は別途とする。
(本工		(・中央 ・名	各階ユニット・ 1	FCU方式	当項目となる)		〇 8 再生資材活用	・本工事では、産業廃棄物の最終処分における熊本県産業廃棄物税相当額を見込んでいる。型体の爆材、独科の空告等については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、元額業者の責任においては受ける法律、企業のでは、東本県グリーン課入権連方針に連合するリティクル施設資材の活用に努めるものとする。受注者は、東本県グリーン課入権連方針に連合するリティクル施設資材の活用に努めるものとする。受注者は、リティル・施設資材を使用する場合、工事材料施配検室膜い張出時に品質・性能に関する書類に加え、以下の	適正に処理すること。	2 〇 1 既存部分の養生	固定された備品、机、ロッカー等の移動 ※ 行わない。	ト等による。 · () · 行う (図示による)	
主要非	・ FCU+ダダー ・ 吸収冷温水・空気熱源ビー		• [パッケージ方式 吸収冷温水機ユニット パッケージ型空気調和機		ージ型空気調和機 ニートポンプ式空間調和機		・ 熊大県グリーン原入培地方針判断孟降等連合報告書 ・ 有害物質の溶出・含有等に関する証明書 ・ 再名材料供給証明書	1	反 投 エ ○ 2 監督員事務所	既存家具等の養生 ・ ピニールシー・ 設ける 〇 設けない	ト等による。 ・ ()	(2. 3. 1)
排煙	. 設備 機械換気 (. 設備 機械排煙 (・有 ・無) ・有 ・無) ・電子式						(例外:1) 次の資材については、上記書類の提出を求めない。 -コングリー・美又はアスファルト・コングリート境の分を再生材料として使用した「再生加熱アスファルト最合物」及び	Ā	● ○ 3 工事用水		で 僧品については、監督員の指示による。 僧・無償) ・ 利用できない	
	設備・水道直結方・ポンプ直送	式 ・ 方式 (・上水	高置タンク方式・井水 ・中水 〕	(・上水 ・井水 ・中 ・増圧ポ				高炉セメントエコマーク眼定製品	「行生助整材」	〇 4 工事用電力	株内既存の施設 ○ 利用できる(※有		
排水	: 設備 ポンプ排水 汚水放流先 雑排水放流先	・ 全雑排水 (・分流 (・有 (・羽 (・公共下水道 (・公共下水道 (・1号 ・2号	・雨水 ・雑技・ し尿浄化槽・ し尿浄化槽))		〇 9 再生資材の利用	(例外2) 該当する項目に係る有害物質の溶出及び含者、アスペスト(石綿)の含者、水業イオンの溶出、硫化水素等の発生に影査材については、「有害物質の溶出・含有等に関する証明書」の提出は求めない。 再生資材の利用又は現場内で液用をする場合は、土木部で定めた「建設副産物の再生利用指針」による。	書する検査を不要としている	5 手すり先行足場	足場を設ける場合は、「「手すり先行工法 るガイドライン」により、「働きやすい安心局 変更の作業は、「手すり先行工法による足	に関するガイドライン について(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24 のから長場に関する基準」に連合する手すり、中さん及び幅末の機能を有する足も 場の組立て等に関する基準」により行うこと。	日)の「手すり先行工法等に関す
	・連結送水 ・二酸化炭素	・連結散水 消火 ・新ガ	・ 泡消火 ス系消火	スプリンクラーフード等用簡易自動消		消火		対象資材 : コンクリート境、アスファルトコンクリート境、建設発生木材		3 1 埋戻し及び盛土	種別 · A種 ※ B種	· C權 · D權	(3. 2. 3) (表3. 2. 1)
ガス	設備・都市ガス・液化石油ガ	(供給業者名ス	種別	発熱量 kcal/	'Nm")		10 建設発生土の利用 11 建設汚泥処理土 の利用	建設発生上が発生し、又は建設発生土を利用する場合は、土木部で定めた「建設発生土の利用と処理指針」による。 建設汚泥を再生した建設汚泥処理土の利用は、土木部で定めた「建設汚泥の処理と建設汚泥処理土の利用指針」に、		2 建設発生土の処理 土 T	※ 精外指示の場所 受け入れ場所 (受け入れ場所での処置 (・ 敷) 治ならし、 ※ たい第)	(3. 2. 5)
							>2TU/II		ā	*	搬出距離 ()	km	
											上記に示す受入れ場所・距離は参考であ ・ 構内指示の場所 (・ 敷きならし	り、実施にあたっては監督員と協議のうえ決定する ・ たい資)	
-NG	上 旧	急化 /#* 一	· = + + =	÷1	<u></u>			建築士事務所名	建築士事務所 熊本県 知事系 株式会社 太宏設		工事名称	熊本地震による熊本県立大学災害復旧	工事(第Ⅰ期)
积	本県電気	設 佣 丄	. 争 符 🖥	化 任 禄 書	Î			設計者氏名	A	133907 号 印	図面名称	電気設備工事特記仕様書 (その1)	図面番号 E-01

章 項目	特 記 事 項	16 幹線ケーブル	소핑소하셨는 글리노 글리크 : hog 나라노 리 Michael ITIEN Michael ITI	後田の本仕者と	
〇 1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする。	_ 10 軒録ケーノル	主要な幹線ケーブルは、ブルボックス、ハンドホール等内で、円回し等により会長を確保すること なお、この際はケーブルを緊縛してはならない	機器の取付高さ 機器取付高さは下表を原則とする (た) 名 称	だし、総括監督員、主任監督員の 測 点
〇 2 機材等の検査	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による。	○ 17 表示等	(1) プレートの表示 器具を実装しないものについては、下記の要領で用途を明示すること	取引用計器 引込開閉器	地上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 **
及び試験 ○ 3 関連法規等	電気設備技術基準、同基準解釈、その他の関係法規及び電力会社、電気通信事業者(NTT等)の内規を		(電灯、動力、電話、放送、TV、火報、ベル、インターボン、表示、時計、防犯、監視、LAN、呼出等) (2) 幹線の表示 強電、弱電の幹線引出口、引込口、ブルボックス内及びハンドホール内の必要な箇所には、行先、回路種別	分電盤 ブラケット 洗面器 階段踊場	床上 ~ 中心 約 鏡上 約 床上 ~ 中心 約
	厳守して完全に施工すること。		及びケーブルサイズ等を明示した表示札、プレート等を設けること (3) ブルボックス及びハンドホールの表示	■ 屋外	床上 ~ 中心 *** 床上 ~ 中心
○ 4 容量などの表示	(1) 機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は原則として表示された数値以上とする (2) 電動機出力は原則として表示された数値以下の電力とする		ブルボックスの表面に用途表示を行うこと ハンドホールの蓋には熊本県章を表示し、用途別に「高圧」「電気」「弱電」「電話」等と表示すること。	住宅	床上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 **
○ 5 耐震施工	(1)機器設備の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所監修 2005年版)」による	18 接地工事	(1) 接地埋設標は黄銅板製の刻記式とし、A種接地工事(柱上高圧機器を除く)、受電設備等のB種接地工事、 その他図面に特記する接地工事に設けること	カンセント 台上 土間 毎	台上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 **
	① 設計用水平地震力 機器の重量 [kN] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。		(2)接地種の材料は、下表による。(枚敷及び本敷は最低の値とする。) 接地種の材料は、下表による。(枚敷及び本敷は最低の値とする。) 接地種の材料 ・ おきまます。	手元開閉器	床上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 **
	なお、特配なき場合、設計用標準水平震度は、下表による。 ※地域係数 Z=1.0 としている 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度 (Ks)			消火栓表示灯 記 端子盤	床上 ~ 中心 *** 床上 ~ 下端 **
	耐震安全の分類 ・特定の施設 ①一般の施設 ※該当する施設に○をつけること		A種接地工事 EA 6本 電 柱上高圧機器 EBp 2本	保安器ボックス 電話位置ボックス壁、テレビ端子	床上 ~ 下端 ** コンセントに準じる
			力 B種接地工事	受信機、副受信機 (壁掛型) 事 分布型感知器	床上 ~ 操作部 *** 床上 ~ 中心 **
	上層階、屋上 2.0 2.0 1.5 1.5 1.5 1.5 1.0 1.0 及び塔屋 (2.0) (2.0) (2.0) (1.5)		D種接地工事 E _D 1本 请 構內交換機用 E _t 1枚 2本	発信機 表示灯	床上 ~ 操作部 *** 床上 ~ 中心 ***
	中間階 1.5 1.5 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 (1.5) (1.5) (1.5)			ベル 「 感知器試験機	床上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 **
	1階及び 1.0 1.5 0.6 1.0 0.6 1.0 0.4 0.6 地下階 (1.0) (1.0) (1.0) (0.6)		Reg (100 Ω 以下) E _{Lt}	呼出プザートイレ呼出ボタン	床上 ~ 中心 約 床上 ~ 中心 数
	※上層階の定義は次による 注):()書きの数値は防振機器とする 建物階数 上層階 建物階数 上層階		審 遊雷設備 E _L 1枚 2本 保 低圧避雷器(100以下) E _{LL} 6本	押ボタン 屋外 屋内	床上 ~ 中心
	2~6階建 最上階 10~12階建 上層3階			インターホン (壁掛) 子時計	床上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 **
	重要機器 ・ 配電盤 ・ 自家用発電装置		接地極鋼板 : 1. 5t×900°	警報盤	床上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 **
	・交換機・自動火災報知受信機・直流電源装置・交流無停電電源装置		接地棒 : 14 φ × 1,500L (一般用) : 10 φ × 1,000L (外灯)	スピーカー 表示器	床上 ~ 中心 ** 床上 ~ 中心 **
	・中央監視装置 ・ 太陽光発電設備		: 10 φ × 1,000L (測定補助用) 2ヶ所		
	② 設計用鉛直地震力 設計用糸平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする	○ 19 照明器具の接地	コード吊以外の蛍光灯器具、水気のある場所の白熱灯器具及び放電灯器具類(HID灯等)は接地すること 接地線は原則として緑色の IE 1.6mm 以上とし金属配管の場合は配管を利用してもよい	工事区分 別表-1の記入上の注意 該当箇所は 別表-1 他工事との工事区分表	: ● (黒塗り) とし該当しない工
	③ 軽量機器等の耐震施工 重要機器、重要水槽を除く100kg以下の軽量な一般機器、一般水槽の据付け、取付けについては、 取付下地を入念に施工し、機器メーカーの指定する方法で確実に取付け、据付けを行えばよいものとし、	20 蛍光灯安定器	図面に特配なき場合は下表による 蛍 光 灯 の 種 類 回路方式		▶ 内容
	取り「Rac 人」とに属土し、機能が「メージ行足する力法と権失に取りり、強いりを行えばよいものとし、 特に本基準で示した方法によらなくともよい		16/237ット PH H f 形 32/457ット PJ(PK)		配電盤 ・ 制御盤の基礎
4	(2) 建物への配線引込部の耐震処理は (・FEP方式 ・地中箱方式) とする	4	867ット PJ	電気関係	自家発電機の基礎(アンカーボル
〇 6 配管工事	(1) 特に指示なき電線管はねじなし電線管を使用し、PF管は一重管とすること。 (2) 一区間の恒長が30mを越える場合及び施工に必要な場合は、特に図示してなくとも中継ポックスを設けること		コンパクト形 P32, P45 PN 15形以下 GL	7	デレビアンテナ基礎(" 整雷針の基礎("
	(3) 予備配管には、1.6m/m以上のビニール被覆鉄線を入線すること	特	直管の (防雨形器具、防湿形器具、 ランプ 20形 電池内蔵型非常用照明器具及び誘導灯) GL		屋内設備 (架台、アンカーボルト
特 7 構内及び構外舗	装 構内では、路盤材料は再生クラッシャランを用い、アスファルト舗装は再生密粒度アスファルト混合物を利用すること		(上記以外のもの) GH	架台、アンカーボル	監外設備 (" ト
	構外では、 ・表層路盤 (・再生アスファルト ・新70%再30% ・再100%) ・基層路盤 (・再生アスファルト ・新70%再30% ・再100%)	記 O 21 LED制御装置	図面に特記なき場合は、一般形(LN)、初期照度補正形(LJ)、連続開光形(LX)とすること	特記した基礎 梁、床、壁、	補強を要するもの
記	・ 上層路盤(・ 再生粒調砕石 ・ 再生クラッシャラン)・ 下層路盤(・ 再生粒調砕石 ・ 再生クラッシャラン)を利用すること	22 外灯設備	(1) 溶融亜鉛めっき鋼管ポールは、エッチングプライマー処理の後、指定色2回塗りとすること	貫通スリープ 梁、床、壁、	補強を要しないもの 補強を要するもの
8 埋設テープ	全ての地中埋設配管には GL-300 の位置にビニル製埋設テープ (ダブル) を敷設し、高圧、低圧及び弱電等	*	(2) ポール内等にカットアウトスイッチ又は配線用遮断器(トリップ機構無)を設けること	貫通部型枠 軽量鉄骨下地、壁、	補強を要しないもの 補強を要するもの
事	の種別及び行先を表示すること 等 (1) 屋外の支持金物、ポルト及びナット類は、溶融亜鉛めっき仕上げ(HDZ35以上)又はステンレス製とする	○ 23 照度測定	測定箇所 ・ 学校環境衛生基準による。① 監督員の指示による。	開口部 埋込形分電盤、 端子盤等の型枠	補強を要しないもの(アウトレットポッ 補強を要するもの 補強を要しないもの
16	(2) ナットの固定には、ダブルナット又は抜け止め対策を行う	項 24 キュービクル型 受変電設備	(1) 変圧器の2次側には最大需要電流計(電子式)を設けること (2) 変圧器の2次側と配線用遮断器の1次側間は偏帯とすること	上記開口部の補強	mac x o x o o
○ 10 配管塗装	(1) 指定箇所の露出配管、露出ボックス類の塗装は、エッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて、OP2回塗りとする	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(3) 幹線と配線用遮断器を接続するための端子台を設けること (4) 充電部の保護用として、取っ手を付けたアクリルパネルを設けること	スリープの穴埋め (型 フリーアクセスフロア用	型枠の穴埋めを含む)配線器具
	(2) 指定場所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする (3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗		(5) 変圧器は原則として、熊本県グリーン購入推進方針適合品とする (6) 高圧充電部の近くには高圧危険表示をすること	点 検 口 床、壁、天井 外部取付ガラリ ダクト、チャンバー	一の接続用フランジを含む
	布すること (4) 図面に特配なき場合は、溶融亜鉛めっき仕上げではJIS H 8641で規定するHDZ35以上とすること		(7) 耐震施工(重要機器)を行うこと (8) 変圧器の耐震区分は(・標準・強化)とする	湯沸室のフード 換気扇の取付枠	
	(5) 仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと	25 構內情報通信網	ケーブルは監督員の指定する色を用い、露出部分(端末接続部分を除く)を保護すること	流 し 台 排水トラップ共 防 油 堤 オイルサービスタ	
O 11 環境に配慮した 電線採用	従来記号 対応する記号及び規格名称	設備	また、導通、対の配置、減衰量、長さ(UTPは90m以下)、近端編話減衰量、ACRの検査試験を行うこと	床下水槽のマンホールふた	空龍
	IV IE 600V耐燃性ボリエチレン絶縁電線 (IV) IC 600V耐燃性架橋ボリエチレン絶縁電線 VVR EE 600Vボリエチレン絶縁電線 VVR EE 600Vボリエチン発験耐燃性ボリエチンシースケーブル	26 インターホン設備	卓上型機器への接続は、原則としてコネクターによる。 また、ケーブルはインターホン用絶縁耐燃性ホリェチレンシースケーブルを用いること	屋外排水管 雨水 汚水、雑排水 雨水立管 (たてどい)	
	VVF EEF 600Vボリエチレン発達耐燃性ボリエチレンシースケーブル (平形)	27 音響設備	音響装置は動作試験の他に次の測定を行うこと ・インピーダンス ・ 残響時間 ・ 伝送周波教特性 ・ 音圧分布	トイレ手すり	
	CVV CEE 制御用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル CCV CCE 制御用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル	28 テレビ 共同受信設備		はめ込形洗面器用カウンター (前板: ガスボンベ転倒防止用の鎖	共)
	CV-T CE-T トリアレックス形架橋ボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケープル TKEV TKEE 耐燃性ボリエチレンシース通信用構内ケープル		(2) 増幅器は図面に特記なき場合は、UHF帯とする (3) 建築躯体工事完了後、地上波放送局分の電界強度測定を行い、監督員に報告すること		rッタなどの制御部と 「配線及び操作スイッチ
	TIVF TIEF 耐燃性ポリエチレン絶縁屋内用平形通信電線 EBT EM-EBT 電子ボタン電話用ケーブル	29 電気時計設備	子時計の配象接続には2種コネクケーを用いること	防火扉レリーズ電極棒	
	AE EM-AE 警報用ボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル HP NH-HP 小勢力回路用観察電線 CDEV ロアドロ・オール・オール・カー・オール・オール・カー・オール・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・オール・オール・オール・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・カー・オール・オール・オールー・オール・オール・オール・オール・オール・オール・オ	30 消火ポンプ起動	特配なき場合は、発信機運動方式とする。	配線ピット及びふた 電 機器などへの接続 (1 気 機器は関の制御報(2)	
	CPEV CPEE 市内対すりエチレン絶縁耐燃性すりエチレンシースケーブル FCPEV 著色識別オリエチレン絶縁耐燃性オリエチレンシースケーブル	31 壁貫通	その場合、発信機表面に「消火栓運動」等の文字を併記すること	・ 機器付属の制御整介	降の2次側の配線配管 (接地共) の電源供給配管配線 との電源供給の渡り配管配線
12 配分電盤及び 操作盤	(1) 配分電盤及び操作整(以下、盤という)は、監督員の指定する色(既製品を除く)にて焼付け塗装すること (2) 電灯分電盤については中枠及び関戸式内扉を設けるものとし、盤内配繰の主幹と分岐関閉器間は頻帯とする	31 壁真週	構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋探査を行う。 ・レントゲン撮影 ・ 金属探知機	自動制御盤と動力盤と	との操作回路の渡り配管配線 付属操作スイッチとの渡り配管(
珠田盛	(2) 能力の進生にグイドルでは、下はイドルのでは、これに関わっている。 こと、ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない (3) 盤には、二重天井の場合、監督員の指示する大きさの予備配管を2本以上天井内まで立上げ、エンドカバー	〇 32 あと施工アンカー	○ あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること	配 天井吊り形FCU、 線 個別パッケージ、 全熱交換ユニット等	付属操作スイッチとの渡り配線
	フはブッシングを設けること (4)	0 02 0)CMB ± / 0 //	・ 施工者資格 (○ 第1種かと施工アンカー施工士 ・ 第2種あと施工アンカー施工士) ※試験 ※自主検査 (全数)	の機器	付属操作スイッチの埋込ボックス 一機、 室外機の渡り配線 (接地)
	(5) 検索にも表現されるいます。 (5) 検育電力量計について、特配なき場合は検定品とすること (6) ドア裏面の充電部が露出する部分は原則感電防止の処置を施すこと		・加力検査 (・非破壊試験 <u>か所</u> ・破壊試験 <u>か所</u>)	煙感知器から連動制御	御盤を経て防煙ダンパに至る配管制御盤以降の2次側の配管配線
	(7) 屋外に設置するものについては、外面の庚草を60μm以上とする。	〇 33 改修工事	改修工事にあたっては、工事範囲における次の確認・測定等を着工前に行い、監督員に報告すること ○ 既設機器の動作確認	ガス漏れ検知器	
13 端子盤 及び保安器箱	塗装及び予備配管は、「特記事項12の配分電盤及び操作盤」と同様とする		○ R 度測定 範囲 (※ 居室 ※ 教室 ① 指定する場所 (客席・吹抜)) ○ 絶縁測定 (・幹線 ① 分岐回路 ・ 弱電ケーブル)	電 気 錠 電気錠及び通電金具 TENキー及び制御盤 エレベーター出入口三方枠 (金属製	1)
O 14 ボックス等	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特配なき場合、金属製とする		○接地抵抗測定 ○導通試験	エレベーター出入口三方枠 (石製) シャワーユニット、バスユニット、洗濯機	
O 15 配線器具等	(1) フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする			ボード ・ Tバー システム天井 照明ライン設備プレー	
	(2) 公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付きとする (3) 特記無きスイッチはワイドスイッチとする			空調ライン設備プレー	<u> </u>
1		1 1	1級 建築士事務所 熊本県 知事		h th h 1.111.
	· 复数性工 审 性 和 4 ***		建 築 士 事 務 所 名 株式会社 太宏股計場	下務 所 工 事	名 称
RR 平 界 電	,		1級 建築士 大臣 登録第	133907 号	72 - 24 - AP - AP - AP

名	称	測		点		取付高	6	(mm)
0 引用計器		地上	~	中心	約	1, 800	~	# 2,000
込開閉器		床上	~	中心	約	1, 800	~	# 2,200
電盤		床上	~	中心	約	1, 500	~	* 2,100
プラケット	洗面器	鏡上			約	100		
ンクット	階段踊場	床上	~	中心	約	2, 000	~	* 2,500
	屋外	床上	~	中心	約	1, 500		
イッチ	一般	床上	~	中心			~	# 1,100
	住宅	床上	~	中心	約	1, 100		
	一般	床上	~	中心	勒	400	~	
is called at	台上	台上	~	中心	勒	200		
コンセント	土間	床上	~	中心	約	800		
	畳	床上	~	中心	約	400		
元開閉器		床上	~	中心	約	1, 500		
掛型制御盤		床上	~	中心	約	1, 500		
火栓表示灯		床上	~	中心	約	2,000	~	2,500
子盤		床上	~	下端	約	700	~	
安器ボックス		床上	~	下端	約	2, 000		
	壁、テレビ端子	コンセ		に準じる				
信機、副受信機	- (壁掛型)	床上	~	操作部	約	800	~	1,400
市型感知器		床上	~	中心	約	1, 700		
信機		床上	~	操作部	約	800	~	1,400
表灯		床上	~	中心	約	1, 900		
シン		床上	~	中心	約	2, 300		
知器試験機		床上	~	中心	約	1, 500		
出プザー		床上	~	中心	約	1, 500		
イレ呼出ボタン		床上	~	中心	數	400 ,	800	
ポタン	屋外	床上	~	中心	約	1, 500		
トペクン	屋内	床上	~	中心	約	1, 300		
ンターホン (壁	掛)	床上	~	中心	約	1, 100		
- 時計		床上	~	中心	約	2, 300		
P報盤		床上	~	中心	約	1, 300		
掛音量調節器		床上	~	中心	約	1, 100		

い工事内容及び区分欄は斜線消去すること

	I	事 内容		建築工事	電気設備 工事	機械設備 工事	別途工事
			屋内		0	-	- /
		配電盤 ・ 制御盤の基礎	屋外	1	ŏ		
			屋上	1	ŏ		-/-
	電気関係	自家発電機の基礎(アンカーボル		1	ŏ		/
				<u> </u>			
* ** ** ***		, , , ,	,)	Ŏ		/	
機器の基礎		避雷針の基礎(")	0			
		屋内設備(架台、アンカーボル)	を除く)	<u> </u>		9/	
	機械関係	屋上設備 (")	0			
		屋外設備 (")			/0	
	架台、 アンカーオ					/ 0	
	特記した基礎			0		/	
	梁、床、壁、	補強を要するもの		<u> </u>	0 /	0	
	果、杯、室、 貫通スリープ	補強を要しないもの		1	6/	$\frac{3}{6}$	
		補強を要するもの					
	梁、床、壁、			<u> </u>			
	貫通部型枠	補強を要しないもの		0	/		
	軽量鉄骨下地、壁			Q	/		
開口部	天井ボード類の切		ックスは除く)	0	0		
pm H mp	埋込形分電盤、	補強を要するもの		0 /			
	端子盤等の型枠	補強を要しないもの		0/			
	上記開口部の補強			ŏ			
	上記開口部の墨出			 	0	0	
		(型枠の穴埋めを含む)		 / 	Ö	$\frac{\circ}{\circ}$	
				+/-	U	U	
L 14	フリーアクセスフロ	/ 用配療器具		/ 0			
点検口	床、壁、天井		/	0			
外部取付		バーの接続用フランジを含む		0			
湯沸室のフ	'-r			0		-	
換気扇の取	付枠				0		
流し台	排水トラップ	ŧ	-/-	0			
	オイルサービ		家発用	1 -	0		
防油堤	タンク基礎		開用			0	
皮下水塘/	りマンホールふた		g-re / 13	0			
	雨水			0			
屋外排水	所	/				0	
雨水立管 (7		·/		0			
	L (C) '			0	 	_	
イレ手すり						0	
と粧かがみ	- 88 PM 1 . L	/				0	
	「器用カウンター (前	「板共) /		0			
ガスボンベ転	倒防止用の鎖					0	
	自動ドア及び電動	シャッタなどの制御部と					
	操作スイッチ間の	心管配線及び操作スイッチ		0	1		
	防火扉レリーズ				0		
	電極棒			1		0	
	配線ピット及びふた	· /		0			
意	機器などへの接続				0		
気			٠,			0	
~		以降の2次側の配線配管(接地共	()	1		U	
配		人の電源供給配管配線		ļ	0		
管		盤との電源供給の渡り配管配線			0		
	自動制御盤と動力	盤との操作回路の渡り配管配線			0		
配	天井吊り形FCU、	付属操作スイッチとの渡り配管	(接地共)	1	0		
線	個別パッケージ、	付属操作スイッチとの渡り配線	•			0	
ner.	全熱交換ユニット			1		ŏ	
	の機器	付属操作スイッチの埋込ボックス			0		
		室内機、 室外機の渡り配線 (接地		1		0	
		型で10歳、 量が1歳の1後が記録 (1後年) 制御盤を経て防煙ダンパに至る配		1	0		
						0	
			1			U	
₩., SE.1- IA /	小便器用節水装置				0		
ガス漏れ検知	水便器用節水装置 器						
/	水便器用節水装置 器 電気錠及び通電金	: Д		0	(0)		
電気錠	水便器用節水装置 器 電気錠及び通電金 TENキー及び制	≥ 具 甲盤		(0)	0		
電気錠	水便器用節水装置 器 電気錠及び通電金 TENキー及び制	≥ 具 甲盤					
電気錠/	水便器用節水装置器 電気錠及び通電金 TENキー及び制を 出入口三方枠(金)	≥具 甲盤 乳製)		(O)	(O)		
電気錠	が便器用節水装置器 電気錠及び通電会 TENキー及び制制 出入口三方枠(金) 出入口三方枠(石)	z 具 卵盤 質製) 叉)		(O) O	0		
電気錠	が便器用節水装置器 電気錠及び通電金 TENキー及び側を が入口三方枠(金別 出入口三方枠(石型 シト、バスユニット、洗	z 具 卵盤 質製) 叉)		(O) O	(O)		
エレベーター	が便器用節水装置器 電気錠及び通電会 TENキー及び制制 出入口三方枠(金) 出入口三方枠(石)	k具 可整 両製) 製)		(O) O	(O)		

震による熊本県立大学災害復旧工事(第Ⅰ期) 図面番号 福島 正継

